

第4章 環境分野の施策の実施状況

第三次計画では、めざす将来像を実現するため、五つの施策分野について基本方針を定め、それぞれに管理指標を設定しています。以降は、各管理指標と達成状況を記載したのち、施策ごとの「具体的な実施状況」を記載します。

達成状況の基準は以下のとおりです。

目指す方向が ↗ または ↘ の指標

◎：当初値からの達成率100%以上、○：同50%以上、△：同50%未満、×：同0%以下

※達成率 = (実績値－当初値) ÷ (目標値－当初値) により算出

目指す方向が → の指標

◎：当初値以上、○：当初値からの減少率10%未満、△：同20%未満、×：同20%以上

施策ごとの「具体的な実施状況」について、各項目に書かれている記号「…①、②」などは、「施策の方向」の各項目「①、②」に対応する実施事業であることを示します。また、課等の名称は事業の担当課を示します。

なお、目標としている環境基準等については、巻末の資料編（p.123以降）を参照してください。

第1節

施策分野【協働・継承】

基本方針1

各主体が協働しながら、持続可能な社会を形成し、継承するまちづくり



1 指標の達成状況

基本方針1「各主体が協働しながら、持続可能な社会を形成し継承するまちづくり」における指標の達成状況は次のとおりです。

達成状況は、令和5年度1年間における状況です。

総合的な指標		当初値 令和元年度	実績値 令和5年度	目標値 令和12年度	目指す 方向	達成状況
学校や市立 社会教育施設 で行われる環境啓発 事業等への 参加者数	生活環境の 保全	*42,000人	31,938人	42,000人	→	× 当初値より減少しており、今後も 取組みを進める必要があります。 (当初値からの減少率24.0%)
	自然体験、 自然との 共生	*220,000人	255,576人	220,000人	→	◎ 達成 盛岡市動物公園ZOOMOが令和 5年4月にリニューアルオープン したことに伴い、入園者数が大幅 に増加しました。 (当初値からの増加率16.1%)
	地球環境 への貢献	*37,000人	32,824人	37,000人	→	△ 当初値より減少しており、今後も 取組みを進める必要があります。 (当初値からの減少率11.3%)

* 平成27～令和元年度の実績値平均（千人未満切り上げ）

管 理 指 標	当初値 令和元年度	実績値 令和5年度	目標値 令和12年度	目指す 方向	達成状況	
環境学習講座の参加者数	400人 (平成27～令和 元年度の実績 値平均 百人 未満切り上げ)	763人	500人	↗	◎	達成
盛岡市子どもエコチャレン ジの参加者数（累計） （小学4年生を対象に夏休 み期間中、家庭で省エネ行 動の取組を行うもの）	14,918人 (H23年から の累計)	20,899人 (令和2年度～ 令和5年度の実 績：5,981人) ※令和4年度実 績：1,447人)	33,000人 (令和元年度累 計からの目標 増加数： 18,082人)	↗	△	昨年度実績の1,523人からは微減 しましたが、及第点の実績です。 教育委員会と連携を図り、より多 くの児童の参加につながるよう努 めます。（計画期間全体の到達状 況33.1%*）

* 到達状況の算出方法（令和5年度実績値20,899人－当初値14,918人）÷（目標値33,000人－当初値14,918人）

2 施策の実施状況

(1) 施策の方向 各主体との協働の推進

- ① 情報や器材の提供や交流を通じて、環境に関するボランティア活動やNPO活動を支援するとともに、協力と連携を促進します。
- ② 農林業イベントの開催、市民農園や農産物などの産直施設の整備などにより、農林業の重要性の啓発や、人的交流の促進を図ります。
- ③ 環境にかかわる人材の育成を進めるため、教育機関・NPO※・事業者・市などの連携を進めます。
- ④ 環境啓発イベントや環境学習の場を通じて、市民・教育機関・NPO・事業者・市などが互いの環境にかかわる活動や課題を学び合うなど、情報や人的交流の促進を図ります。

具体的な実施状況

○盛岡市公園愛護会の活動支援（公園みどり課）… ①

花と緑につつまれた潤いのある街にするためには、地区住民の協力が必要であることから、町内会等で構成された「盛岡市公園愛護会」に公園等の管理を依頼し、市と連携して快適な公園の管理に努めました。

令和5年度末における公園愛護会へ依頼している管理公園数は、442箇所（プレーロット※13箇所を含む）となり、町内会等との連携の促進が図られました。（図4-1）

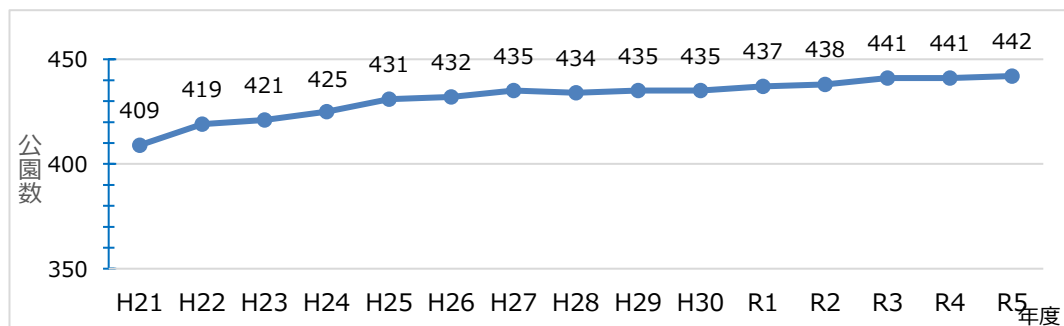


図 4-1 管理公園数の推移

○盛岡市農業まっりの開催（農政課）… ②

農業者と市民との交流を通して、市民に農業の魅力を伝えるとともに、安全で安心な食の啓発と地産地消の推進を図るため、次のとおり盛岡市農業まつりを開催しました。消費者の食品に対する「安全・安心」の意識が高く、生産者の顔が見える農作物に関心が集まっている中で、盛岡産農畜産物のPRの場及び生産者

と市民の交流の場としての意義は年々大きくなっています。

- ・開催期日 令和5年10月28日（土）、29日（日）
- ・開催場所 もりおか歴史文化館前広場ほか
- ・内 容 地元農産物の販売
- ・来場者数 12,605人

○産直施設への支援（農政課）… ②

市では、産直施設を生産者と消費者が交流する場と捉え、「農」と「食」に関する消費者理解の促進や、地産地消の推進、地域の活性化に結びつけるよう支援しています。農業まつりにおいて産直で利用できるクーポン券を発行するなど、消費者が産直を訪れる機会を創出したほか、盛岡市産の安全・安心な農林水産物等の生産活動の支援のため、市内産で出荷を制限されている山菜の一部については、産直施設へ周知を行いました。

○「もりおかエコライフ2023」の開催（環境企画課）（資源循環推進課）… ④

清らかな水と豊かな緑に恵まれたまち、もりおかを次の世代に引継ぐため、盛岡市環境基本計画のスローガン「未来へとみんなが築く、自然と“わ”になるまち“もりおか”」のもと、市民が環境に配慮した「エコライフ」への意識変革の契機となる事例や取組みなどの情報発信を通じた周知啓発の場として「もりおかエコライフ2023」を開催しました。

- ・開催日時 令和5年11月12日（日） 10:30～16:00
- ・開催場所 イオンモール盛岡南（盛岡市本宮七丁目1-1）
センターコート（1F）及び隣接通路、外特設会場
- ・内容
 - ステージイベント
 - ・京乃はる先生のサイエンスショー（①11時 ②14時）
 - ・岩手大学工学GIRLS「わくわくエコ&サイエンスショー」（①12時 ②15時）
 - 体験ブース
 - ・ミツロウラップ作り ・裂き織りコースター作り ・分別チャレンジ
 - パッカー車がやってくる
 - ・当日来場者数 1,494人（イベント、体験ブース参加者等）



(2) 施策の方向 環境保全活動を担う人材の育成

ア 環境教育・環境学習の推進

- ① 環境体験学習施設など環境学習拠点の整備を図ります。
- ② 環境教育副読本を発行するなど、小中学校での環境教育への支援を進めます。
- ③ 自然観察会、水生生物調査、星空観察会、こどもエコクラブ※活動などの体験型環境学習を進めます。
- ④ 公民館などでの環境講座の開催により環境学習に接する機会の提供に努めます。
- ⑤ 環境教育・環境学習プログラム、環境人材育成の研究・開発を進め、子どもや大人などそれぞれの状況に応じた環境教育を推進します。

具体的な実施状況

○もりおかエネルギーパーク事業（環境企画課）… ①

盛岡市域の主要な再生可能エネルギー関連施設が連携して環境啓発事業を推進する「もりおかエネルギーパーク」計画が、平成27年10月30日付けで経済産業省より「次世代エネルギーパーク」の認定を受けました。この計画に基づいて各施設に関する一体的な情報発信や連携した環境啓発事業に取り組み、エネルギー問題

への理解の増進を図るとともに、「水と緑のまち・もりおか」の良好な環境の継承に寄与することを目指します。（表4-1）

表 4-1 構成施設一覧

構成施設	再生可能エネルギー	所在地
エコアス広場（盛岡市環境学習広場）	太陽光・風力	盛岡市上田字上堤頭30-10（旧競馬場跡地）
ユートランド姫神・ソーラーガーデン姫神	太陽光・バイオマス	〃 下田字生出893-11 〃 下田字生出893-1
盛岡市中央卸売市場	太陽光	〃 羽場10-100
盛岡市クリーンセンター・ゆびあす	バイオマス	〃 上田字小鳥沢148-25 〃 上田字小鳥沢148-103
四十四田発電所（四十四田ダム）	水力	〃 上田字松屋敷79-5
御所発電所（御所ダム）	水力	〃 繫字下猿田79-9
岩洞第一発電所	水力	〃 日戸字姥懐36-34
つなぎ温泉地域地熱利用施設	地熱（温泉熱）	〃 繫字湯ノ舘地内
姫神ウィンドパーク	風力	〃 山谷川目牧野おか
築川発電所・築川ダム	水力	〃 川目地内

○環境学習広場の運営（環境企画課）… ①

平成24年度から旧盛岡競馬場跡地で進めていた盛岡市環境学習広場（愛称：エコアス広場・面積約2.2ha）の整備が平成25年度に完了し、平成26年4月1日に供用開始しました。施設は、資源循環の仕組みを学ぶ「いこいの花畑」、再生可能エネルギーを身近に感じる「光のガーデン」、水辺植物に囲まれた池や林で自然観察を行う「観察の木陰」の3つのゾーンで構成し、誰でも自由に学ぶことができるよう、環境学習パネルを計10箇所を設置しています。

○環境学習講座の開催（環境企画課）… ①

環境保全、資源の循環利用、再生可能エネルギー等について理解を深めてもらうことを目的に、盛岡市環境学習広場（エコアス広場）や盛岡市総合交流ターミナル施設（ユートランド姫神）を中心に環境学習講座を開催しました。令和5年度は21回開催し、763人の参加がありました。（表4-2）

表 4-2 環境学習講座の開催状況

開催場所	内容	人数
エコアス広場	サツマイモ植え、花畑サポーター（4回開催）、生き物みつけ、めぐるちゃんわくわく体験、エコアス収穫祭、もりおかの冬の夜空を観察しよう、エコアス焼き芋会	533人
ユートランド姫神	もりおか近郊自然歩道生出コースを散策しよう	23人
その他	もりおかの春の夜空を観察しよう、春の区界高原を探検しよう、外山森林公園で森づくり、もりおかエネルギーパークで再エネ施設を見学しよう（2回開催）、もりおか歴史自然めぐり、もりおかゼロカーボンフェスタ、もりおかの里山散策～黒森山～、もりおか近郊自然歩道を散策しよう～北山散策路～、コットンフラワーでふんわりクラフト	207人

○環境体験学習施設など環境学習拠点の整備（林政課）（公園みどり課）（環境企画課）… ①

令和5年度も、森林公園、動物公園、少年自然の家などにおいて工夫を凝らした環境教育・環境学習に取り組んでおり、引き続き既存施設の利活用と内容の充実に努めました。

○県事業「地球温暖化を防ごう隊」への参加（学校教育課）… ②

家庭でできる節電等の身近な省エネルギー活動の取組を通して、地球温暖化防止に対する意識を高める県事業「地球温暖化を防ごう隊」へ参加しました。令和5年度は、市内小学校2校の児童が、この事業に取り

組みました。

○環境教育副読本の発行、啓発教室の実施（資源循環推進課）… ②

子どものころから、市のごみ処理の実態、ごみの減量やリサイクル、ごみの正しい出し方などへの関心を高め、理解させることが重要であることから、小学校3・4学年を対象にした社会科補助教材「ごみとわたしたち」の冊子2,800部を作成し、市内小学校や各施設等に配布しました。また、町内会、小学校、中学校及び大学・専門学校等を対象に、啓発教室を61回開催しました。

○盛岡市子どもエコチャレンジの実施（環境企画課）… ②

地球温暖化問題や二酸化炭素の削減の重要性の理解を深め、持続可能な地域社会の実現に向けた環境配慮意識の醸成を図るため、日常生活における省エネ行動等に取り組むことができる「子どもエコチャレンジ記録用紙」を作成し、市内の小学4年生に配付しました。令和5年度は、33校、1,447人の児童が参加しました。

○環境部ウェブサイト「ecoもりおか」の運営（環境企画課）… ②

環境行政への理解を深め、持続可能な社会の形成に向けた環境意識の醸成に資することを目的として、動画配信や環境学習コーナー、サイト閲覧者による投稿コーナーなど、市が行っている環境に関する取組に関する情報をより積極的かつ効果的に発信する環境部ウェブサイト「ecoもりおか」の運用を行い、令和5年度は延べ15,736人が閲覧しました。

○ごみ減量・リサイクル情報について市の広報誌による周知（資源循環推進課）… ②

ごみ減量・リサイクルシンボルキャラクター「めぐるちゃん」を活用し、リサイクルの実践や再商品利用の呼び掛け、コラムの掲載など、市の広報誌による周知を行いました。

ごみ減量・リサイクル
シンボルキャラクター
『めぐるちゃん』



○小学校での取組… ③

小学校では、身近な自然環境を生かした体験学習、地域の清掃活動、ごみ焼却施設や浄水場等の施設見学など、各教科や総合学習、学校行事を通じて、さまざまな環境教育の取組が行われています。（表4-3、4-4）

表 4-3 小学校での取組の施策別参加者数

施策	主な取組内容	参加者人数
生活環境の保全	学校・地域清掃活動、落ち葉清掃、雪かき奉仕、水質調査 等	24,366人
自然体験、自然との共生	農作物栽培、動物飼育、自然体験、稚魚放流、水生生物調査 等	22,082人
地球環境への貢献	廃棄物処理施設見学、資源回収、節電節水、啓発ポスター制作 等	17,778人

表 4-4 小学校での主な取組

学校名	主な取組の内容
仁 王	クリーン作戦（全校）、生活科の生き物飼育（1・2年生）、中津川に住む動植物の生態等について調べる総合の学習（4年生）、林間学校における源流探索等の活動（5年生）、植物・野菜の栽培活動（1～6年生・特別支援学団）、森林の大切さについて調べる総合の学習（5年生）、節水・節電の取組（4年生）、書き損じはがき回収のよびかけ（全校）
城 南	校地内環境美化活動、落ち葉掃き、雪かき奉仕活動、生き物の飼育、植物・農作物栽培、盛岡城跡公園・中津川散策での草花遊び、節電・節水の取組、みどりの羽根募金活動、クリーンセンター・リサイクルセンター、浄水場見学
桜 城	校庭落ち葉掃き、雪かき奉仕作業、ボランティア奉仕作業、クローバーキャンプ、栽培体験、チューリップ球根植え、盛岡城跡公園探検、リンゴ園自然体験、子どもエコチャレンジ（節電・節水の呼びかけ）、5年生総合的な学習（SDGsについて）、クリーンセンター・リサイクルセンターの見学
厨 川	落ち葉清掃（全校）、小動物（うさぎ・クジャク）の飼育（3・4年、委員会）、農作物の栽培（全校）、林間学校・源流探索（5年）、公園探検（1年）、書き損じはがき回収（全校）
仙 北	校庭落ち葉掃き（全校）、校庭石拾い（全校）、期末清掃活動（全校）、雪かき奉仕活動（5・6年）、グリーンキャンプにおける自然に親しむ活動（5年）、盛南公園探検（1年）、花の栽培活動（1年、委員会）、学級園等での



グリーンキャンプ（城南小）

	農作物の栽培活動（２・３年）、昆虫の飼育活動（１・３年）、クリーンセンターの施設見学（４年）
杜陵	プール清掃（５～６年生）、校内黙働清掃美化活動、校庭石拾い・雪かき（委員会活動）、中津川河原清掃（５年） ちょぼらの推進・呼びかけ（ゴミ拾い等）、中津川水生生物調査（５年）、区界林間学校（５年）、花・野菜等の栽培（理科等）、盛岡城跡公園自然散策等活動、さけの稚魚放流緑の羽募金、クリーンセンター、リサイクルセンター、浄水場見学（４年）、書き損じはがき回収
山岸	クリーン作戦（全学年）、プール清掃、雪かきボランティア、中津川探検・生物調査（３年）、自然体験・源流探索・林間学校（５年）、植物・野菜の栽培活動（１・２・４年、特別支援学級）、公園での自然体験（１・２年、特別支援学級）、クリーンセンター・リサイクルセンター見学（４年）、浄水場学習（４年）、書き損じはがき回収（JRC委員会による全校への呼びかけ）、緑の募金（JRC委員会による全校への呼びかけ）
大慈寺	プール清掃、環境保全・全校落ち葉拾い活動、学級農園栽培活動、環境保全学習
米内	校庭整備作業（石拾い・草取り）（全校）、米内川水生生物調査（５年）、学級園での農作物栽培、アサガオ栽培、観察（１年）、ミニトマト栽培・観察（２年）、ハウセンカ栽培、観察（３年）、林間学校自然体験活動（５年）、りんご園の見学（３年）、ダンボールコンポストの取組（４年）、書き損じはがきの回収、盛岡市子どもエコチャレンジ、盛岡市クリーンセンター・リサイクルセンター見学（４年）、リサイクルについての出前授業（４年）
土淵	落ち葉はきボランティア（委員会及び有志）、雪かきボランティア（委員会及び有志）、校庭石拾い、学級園の栽培活動（１～４年、６年）、土っこ田んぼ稲作体験及び販売体験（５年）、イモリの飼育（１～４年）、メダカの飼育（５～６年）、林間学校（源流探索・樹木探索）（５年）、盛岡市子どもエコチャレンジ参加（４年）、書き損じはがきの回収
中野	築川水質調査（５年）、校内清掃（保護者・全校児童）、林間学校（５年）、学校花壇への花植え・水やり・草取り（委員会）、盛岡市動物公園遠足（１年）、御所湖広域公園遠足（２年）、近隣公園見学（１・２年）、りんご栽培学習（３年）、学級園や鉢植えの植物栽培（１～４年）、めだか飼育（５年）、書き損じはがきの回収（全校）、クリーンセンター・リサイクルセンター見学（４年）、ちょぼら推進・呼びかけ（節電等）（委員会）
本宮	清掃活動（全校）、宝積活動（桜の花びら掃き・落ち葉掃き・雪かき）（５・６年有志）、プール清掃（５年）、朝の宝積活動（６年）、卒業感謝清掃（６年）、区界林間学校（５年）、生活科生き物飼育（１・２年）、イモリの飼育（４・５・６年・あおぞら学級）、メダカの飼育（５年）、昆虫の飼育（３年）、学級園や植物・野菜栽培（全校）、リンゴの栽培の見学・体験学習（３年）、クリーンセンター・浄水場等見学（４年）、資源回収（全校）、アルミ缶回収（全校）、書き損じはがきの回収の呼びかけ（全校）
青山	ごみゼロ（５３０）運動（全校）、異学年友遊タイム（VS活動）（全校）、プール清掃（５・６年）、人権の花設置（JRC委員会）、能登半島大地震募金活動（児童会・全校）、区界自然教室・宿泊体験（５年）、学級園・学年園での花や野菜の栽培・観察（１～４、６年）、メダカの飼育（５年）、りんご園見学・収穫体験（３年）、清掃活動（近隣公園）（５・６年）、書き損じはがき回収（全校）、子どもエコチャレンジ（４年）
北厨川	朝清掃・落ち葉清掃（環境委員会）、雪かきボランティア（５・６年）、卒業感謝清掃（６年）、校庭石拾い（全校）、花壇の苗植え・草取り（全校）、東北農研農作物栽培活動（３年）、農作物の栽培（全校）、イモリの飼育（６年）、オオクワガタの飼育（２年）、書き損じはがきの回収（全校）、子どもエコチャレンジ（４年）、服のチカラプロジェクト（５年）、クリーンセンター・リサイクルセンター見学（４年）、インクカートリッジ回収（全校）
河北	校庭の清掃等環境美化活動、校庭の落ち葉はき、雪かき、グリーンキャンプ、花植え・水やり、野菜栽培活動、岩手大学農学部自然観察園見学（１・２年）、書き損じはがきの回収、環境ポスター作り、資源回収、盛岡市子どもエコチャレンジ、地球温暖化防ぎ隊（５年）、ごみの分別、クリーンセンター見学（４年）
上田	学区地域・通学路等のクリーン作戦、ごみゼロ運動（全校）、朝清掃ボランティア活動（６年）、生活科生き物の飼育（２年水生生物、３年青虫・ちょう、５年メダカ）、高松の池周辺自然観察（１・３年）、林間学校・源流探索（５年）、学校農園での植物・農作物の栽培（全校）、エコライフ活動（節電・節水）（４年）、書き損じはがき回収（全校）、みどりの羽根募金（全校）
山王	緑の活動（地域の清掃活動）、学級園での栽培活動・花壇の世話（全校）、緑を愛でる会・樹木観察学習（３年）、稲作体験学習（５年）、林間学校樹木観察（５年）、浄水場施設見学（４年）、書き損じはがき集め（全校）、クリーンセンター・リサイクルセンター見学（３年）

緑が丘	校庭のゴミ・石拾い、落ち葉はき・雪かき等の「ちょボラ活動」、プール清掃、緑の羽・赤い羽根募金、一円玉募金、りんご農園見学、植物・農作物栽培、生き物とのふれあい活動、花の苗植え活動、グリーンキャンプ源流探索、段ボールリサイクル活動、クリーンセンター・リサイクルセンター見学	
太田	鹿妻堰桜並木の保護活動(5・6年)、太田っ子遊水の環境整備(1・2年)、校内VS活動(全校)、「いわて教育の日」～学校に感謝する活動(全校)、校庭内清掃(全校)、稲作体験学習(5年)、りんご園体験学習(3年)、学級園の栽培活動(全校)、林間学校(5年)、太田遊水植栽活動(3年)、エコライフ活動(6年)、資源回収(子ども会活動)、「地球温暖化を防ごう隊」(4年)、メダカ飼育(5年)、モンシロチョウ飼育(3年)、猪去川水質調査(4年)、クリーンセンター見学(4年)、子どもエコチャレンジ(4年)、資源回収(子ども会)、書き損じはがき回収(環境美化委員会)	
太田東	ごみゼロ運動(全校)、雫石川水質調査(5年)、落ち葉集めボランティア(全校)、りんご園体験学習(3年)、花の苗植えや栽培活動(1・3年、ボランティア委員会)、畑の栽培活動(2年、特別支援学級)、林間学校(自然体験活動)(5年)、みどりの羽根共同募金、動物公園での動物とのふれあい(1年)、資源回収・地区花壇の花の苗植え(子供会活動)、エコライフ活動(4年)、書き損じはがき回収(全校)	
城北	校地内・校地前歩道の落ち葉掃き掃除、県営運動公園の落ち葉掃き掃除、校庭の石拾い、花の苗植え・水やり、農作物栽培学習、区界自然教室、1年生校外学習(自然散策)、2年校外学習(小岩井農場付近見学)、書き損じはがき回収、プルタブ回収	
大新	落ち葉清掃・校庭の石拾い(全校)、奉仕活動(6年)、区界林間学校(5年)、学区探検等での動物や虫・草花とのかわり(1・2年)、盛岡市動物公園での動物・自然観察(2年)、学校の畑で植物を育てる(全校)、生き物の飼育(1～3年)、書き損じはがきの回収(委員会)、環境についての調べ学習と児童・保護者への啓発(5年)、盛岡市子どもエコチャレンジへの参加(4年)、クリーンセンター・浄水場の見学(4年)	
松園	530(ごみゼロ)運動、全校落ち葉拾い、雪かきボランティア、グリーンキャンプ(5年)、学級園の栽培活動(特別支援)、ヘチマの栽培活動(4年)、メダカの飼育活動(5年)、アサガオの栽培・観察(1年)、ミニトマトの栽培・観察(2年)、アルミ缶回収、テトラパック回収、書き損じはがき回収(ボランティア委員会)、エコチャレンジ活動(4年)	
月が丘	落ち葉拾い(生活委員会)、雪かき(生活委員会)、プラグ点検(生活委員会)、下水道出前講座、下水道標語コンクール(5年)、ちょボラ活動(全学年)、卒業プロジェクト:校舎の清掃活動(6年)、ぼらん農園農作物栽培(全学年)、林間学校(5年)、書き損じはがき回収(福祉ボランティア委員会)、地球温暖化を防ごう隊(4年)、資源循環学習・生ごみ処理機で作ったたい肥の活用(4年)、生き物探し(2年)、公園探検(1・2年)、ごみの分別(全学年)	
高松	清掃活動、全校落ち葉・石拾い、雪かきボランティア、農作物栽培活動・花の苗植え、区界野外活動、登山遠足、りんご園見学・収穫体験、動物とのふれあい体験、食品トレイ・インクカートリッジ・テトラパック回収、書き損じはがき集め、クリーンセンター・リサイクルセンター見学	
東松園	雪かき、全校草取り、全校石拾い、グリーンキャンプ(5年)、リンゴ栽培見学(3年)、農作物栽培(2～5年、特別支援学級)、公園の樹木とのふれあい体験、生活科見学(1・2年)、ごみとリサイクルについての学習(4年)	
見前	学校クリーン作戦(1～4年)、樹木観察・源流探索・区界野外活動(5年)、野菜・花・植物観察(全校)、メダカの飼育(5年)、子どもエコチャレンジ(4年)	
飯岡	子ども会でのごみ拾い(530運動)(全校)、校内清掃、林間学校(5年)、稲栽培学習(5年)、リンゴ栽培見学(3年)、野菜栽培学習(2年)、ハウセンカ等の植物に関する学習(3年)、花苗植え(ボランティア委員会)、地球温暖化についての学習(5年)、プルタブ回収(ボランティア委員会)、ごみ処理場・浄水場見学(4年)	
羽場	全校クリーン作戦・校庭石拾い(全校)、花壇整美(1～3年)、昆虫・メダカ飼育(1～2、5年)、登山、源流探索区界野活(5年)、森林学習(2年)、トレ一回収(全学年)、プルタブ・アルミ缶回収(全学年)、盛岡市エコチャレンジ(4年)、資源回収(地区子ども会)	

稲栽培学習(飯岡小)

永井	石拾い（１～４年）、落ち葉拾い（全校）、林間学校（５年）、農作物等栽培（１～４年）、エコ・チャレンジ参加（４年）、クリーンセンター・浄水場の施設見学（４年）
手代森	校庭の石拾い、林間学校での野外観察活動（５年）、花・農作物の栽培活動、りんご園での体験活動（３年）、稲作体験活動（５年）、メダカの飼育（５年）、資源回収（子ども会）
津志田	草取り・石拾い（全校）、林間学校（５年）、りんご園の体験学習（３年）、農作物栽培学習（全校）、花壇の苗植え・世話（ＰＴＡ・委員会）、盛岡市子どもエコチャレンジ参加（４年）、資源回収（子ども会）
見前南	校庭石拾い作業（全校）、校庭落ち葉掃き（全校）、田植え・稲刈り体験（５年）、区界野外活動（５年）、学年農園での作物栽培（全校）、メダカの飼育（５～６年）、動物ふれあい体験（１年）、資源回収（子ども会）
都南東	ごみ拾い（全校）、環境整備作業（全校・教職員・保護者・地域）、花や野菜の栽培活動（全校）、リンゴ体験学習（３年）、稲作体験学習（５年）、めだかの飼育（５年）、古切手・書き損じはがき回収（全校）、鹿妻穴堰の見学（４年）、盛岡市子どもエコチャレンジ参加（４年）
北松園	日常美化活動（全校）、石拾い・草取り（全校）、地域の自然観察（１～３年）、花や野菜の栽培活動（全校）、メダカの飼育（５年）、酪農教室（５年）、グリーンキャンプ（５年）、動物ふれあい体験（１年）、果樹研究所見学（３年）、クリーンセンター見学（４年）、ごみとリサイクル啓発教室（４年）、米内浄水場見学（４年）、盛岡市子どもエコチャレンジ（４年）、書き損じはがき・古切手のリサイクル（全校）、「持続可能な社会を生きる」の学習と実践（６年）
玉山	クリーン作戦（校庭石拾い・落葉清掃）（全校）、生活科・理科観察用の草花の育成（１～６年）、森林学習（１～４年）、メダカの飼育（５年）、姫神登山（３・４年）
渋民	清掃奉仕活動（クリーン作戦）（全校）、奉仕作業（ＰＴＡ）、雪かき（ボランティア委員会）、栽培活動（全校）、農作物栽培学習（稲作体験学習）、メダカの飼育（５年）、林間学校（５年）、近隣公園で生き物とのふれあい（１・２年）、資源回収、使用済み切手、書き損じはがき回収
生出	環境整備作業（ＰＴＡ）、資源回収（ＰＴＡ）、水生生物調査（３・４年）地域自然学習と発表会（全校）、農作物栽培活動（全校）、メダカの飼育（５年）、エコライフ活動（５・６年）、クリーンセンターの見学（４年）
巻堀	クリーン作戦（全校）（ボランティアデー）、ＰＴＡ環境整備作業（２回）、稲作体験活動（全校）、学級園等での植物・農作物栽培活動（全校）、メダカの飼育（５年）、募金活動、エコライフ活動
好摩	校庭の環境美化活動（石拾い、草取り）（全学年）、校内清掃（全学年・保護者）、学級園での花や野菜の栽培、観察（１～５年）、田植え、稲刈り（５年）、源流探索、区界野外活動（５年）、資源回収（全学年・地区子ども会）、クリーンセンター・リサイクルセンター見学（４年）、アルミ缶回収（全校ボランティアデー）
向中野	宝積（ほうじゃく）活動（石拾い、ゴミ拾い、朝清掃）、植物の栽培、昆虫の飼育、メダカの飼育、林間学校での源流探索、盛岡南地区公園生活科・総合学習、書き損じはがきの回収、クリーンセンター見学

○中学校での取組… ③

中学校では、総合学習のほか、学校生徒会や地区生徒会での取組を中心として環境教育に取り組んでいます。（表４-５、４-６）

表 ４-５ 中学校での取組の施策別参加者数

施策	主な取組内容	参加者人数
生活環境の保全	学校・地域清掃活動、落ち葉清掃、雪かき奉仕 等	6,805人
自然体験、自然との共生	農作物栽培、植林活動、自然体験、水生生物調査 等	2,205人
地球環境への貢献	環境保護団体訪問、学習会、募金活動、資源回収 等	6,388人

表 ４-６ 中学校での主な取組

学校名	主な取組の内容
下小路	学区地域内の清掃活動、アルミ缶回収活動・毎月（ボランティア委員会による）
厨川	地区奉仕活動（青山まちづくり協議会主催の雪まつりへのボランティア参加・灯籠づくり）、農作物栽培学習（特別支援学級）、資源回収（新聞紙・アルミ缶）
上田	地域奉仕（地区ごとに行うごみ拾いや清掃活動）、苺の栽培学習（３年）

下 橋	各地区清掃活動、スノーバスターズ、融雪剤散布ボランティア、中津川水質調査、森の海の恋人体験学習、エコ学習会・エコシンポジウム、募金活動、紙リサイクル活動	
河 南	ごみゼロ運動、農作物栽培	
仙 北	JRC朝清掃活動、書き損じはがき回収、登校時ゴミ拾い活動、古紙分別回収、ペットボトルキャップ回収、1円玉募金（トルコ地震、ユニセフ募金）、能登半島震災募金、JRCクイズバトル	
大 宮	地域クリーン作戦（地域一斉清掃）、学区内雪かき（通学路融雪剤散布）、緑の羽根募金、資源回収、書き損じはがき回収、ペットボトルキャップ回収	
米 内	花壇苗植え・側溝掃除、花壇維持作業、校庭整備（石拾い）、郊外研修（県南青少年の家）、赤い羽根共同募金、スノーバスターズ（雪かき）、シルバーメイト（独居老人宅へのボランティア：草とり）、カキツバタ群落の整備維持作業	
土 淵	学校環境整備作業、学区内の植物の観察（1年理科）、諸葛川の微生物の観察（1年理科）、植物の栽培（1年技術）、農業に関する職場体験学習	
黒石野	災害復興学習・自然体験学習（2年研修）、ペットボトルキャップ回収活動、地域のごみ問題にかかわる学習（総合1年の一部）、農作物栽培（支援学級）、写生会、農作物栽培（2年）、教科横断型環境教育学習	
黒石野 北社分校	学校・地域の清掃活動、雪かき奉仕活動、落ち葉清掃、草集め活動、農作物栽培活動	
城 西	地区清掃、落ち葉拾い、公民館清掃、農業体験学習（2学）、学校園野菜栽培（特別支援学級）、農作物収穫体験学習（特別支援学級）、環境教室講演会（全校）、資源回収、募金活動	
城 東	スノーバスターズ、老人運動会お手伝いボランティア、三代交流新春餅つき大会、地域清掃、落ち葉掃きボランティア、岩山巣箱かけ、復興学習合宿におけるエコライフ体験・避難所体験	 地域清掃（城東中）
北 陵	地区一斉奉仕活動、白い恋人隊（学校周辺の雪かき活動）、融雪隊（通学路に融雪剤を撒き、路面の凍結を融かす）、校庭落ち葉清掃（生徒会活動）、各種募金活動	
松 園	農作物栽培学習、アルミ缶回収、各種募金活動	
見 前	地域清掃活動、落ち葉はき、除雪作業、水生生物調査、花の苗植えや栽培活動、花の水やり、農作物栽培学習、アルミ缶回収、地域資源回収、書き損じはがき回収、各種募金活動	
飯 岡	530運動（身近な環境を安全できれいに保つ清掃活動）、VSビンゴ（環境保全やボランティア活動の項目で）、植物の特徴と分類（1年理科の学習）、植物の体のつくりとはたらき（2年理科の学習）、花壇づくり（有志）、野菜の栽培（ポラーノ学級）、作品制作にかかわる学習（森林保護、植樹、養蜂他）（文化部）、アルミ缶、食品トレー、プラタプ回収（小中連携）、SDGsの学習（ボランティア委員会通信をもとに全校）、使用済み切手回収、書き損じはがき、未使用切手回収、自然災害（令和6年能登半島地震）への募金活動	
乙 部	農作物栽培（支援学級）、アルミ缶回収、リサイクル業者見学	
見前南	地域奉仕活動、農作物栽培学習（特別支援）、資源回収（アルミ缶・古切手等）、各種募金活動	
北松園	地域清掃活動、雪かき、花苗（プランター）、農産物栽培学習、バイオマス施設見学、資源回収（古紙）	
玉 山	網取ダム見学・外来魚調査、土砂災害等の防災学習、修学旅行での防災学習、SDGsの学習と文化祭における発表、農作物の栽培学習、資源回収、ストップ温暖化講演会	
洪 民	校地内花壇、全校による花の苗植え栽培活動（全校）、校内花壇コンクールの実施（全校）	
巻 堀	地域の清掃活動、農作物栽培学習、クリーンエネルギーについての学習	

○高等学校での取組（市立高校）… ③

市立高校では、「総合的な探究」の時間においてSDGs全般について学び、授業において「地球温暖化の防止」・「二酸化炭素排出量の削減」・「生態系とその保全」・「自然との共生」・「生物群集と生態系」等について学習しました。また、学校全体で節電、節水などを実施することで、二酸化炭素排出量の削減、地球温暖化防止に努めました。

○水生生物による水質調査（環境企画課）… ③

水生生物による水質調査とは、川にすむ肉眼で見ることのできる大きさの生物（指標生物）の生息状況を調べ、その結果から河川の水質状況を知ろうとするものです。（図4-2）水質保全への意識を高めることを目的として、県が主体となって実施し、市は受付窓口として調査団体の支援を行っています。令和5年度は、市内の14団体延べ570人が参加し、生出川、雫石川、中津川、北上川、虫壁川、猪去川、米内川、築川の8河川17地点で調査しました。（表4-7）

きれいな水(I)の指標生物		ややきれいな水(Ⅱ)の指標生物	
カワゲラ類	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	オオシマトビケラ	カワニナ類
ナガレトビケラ類	ブユ類	ヒラタドROMシ類	○ヤマトシジミ
ヤマトビケラ類	サワガニ	ゲンジボタル	○イシマキガイ
アミカ類	ナミウズムシ		
きれいな水(I)とややきれいな水(Ⅱ)の両方で見られる生物（指標生物ではない）			
チラカゲロウ	タニガワカゲロウ類	ニンギョウトビケラ類	ヒゲナガカワトビケラ類
きたない水(Ⅲ)の指標生物		とてもきたない水(Ⅳ)の指標生物	
ミズカマキリ	タニシ類	ユスリカ類	エラミミズ
ミズムシ	シマイシビル	チョウバエ類	サカマキガイ
○イソコブムシ類	○ニホンドロソコエビ	アメリカザリガニ	

※注
○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

図 4-2 指標生物と水質階級

表 4-7 水生生物調査実施団体と調査河川

水質階級	調査団体	人数	調査河川
水質階級Ⅰ「きれいな水」	生出小学校、太田東小学校、山岸小学校、岩手大学教育学部附属小学校、城南小学校、チームHIS、岩手県環境生活部環境保全課、下橋中学校、杜陵小学校、盛岡ペットワールド専門学校、岩手自然ガイド協会設立準備会、太田小学校、米内小学校、見前中学校	560	生出川、雫石川、中津川、北上川、虫壁川、猪去川、米内川、築川
水質階級Ⅱ「ややきれいな水」	盛岡ペットワールド専門学校	10	中津川

○「こどもエコクラブ」への支援（環境企画課）… ③

子どもたちの将来にわたる環境保全への高い意識を醸成し、環境への負荷の少ない持続的な社会を構築するため、「こどもエコクラブ」事業の地域事務局として活動の支援を行いました。この事業は、次代を担う子どもたちが、地域の中で仲間と一緒に主体的に地域環境・地球環境に関する学習や、具体的な取組・活動を展開するものです。令和5年度の登録状況は、登録団体10団体、クラブ員数100人、クラブ員の活動を手助けするサポーターが51人でした。

○ナイトミュージアムの開催（子ども科学館）… ③④

星空環境保全につながる取組として、毎月第1土曜日、8月の第2・第3土曜日に、天体望遠鏡による天体観察「星を見る会」を実施しました。令和5年度は、5回開催（悪天候により6回中止）し、延べ140人の参加がありました。

○森林公園内の森林や自然を活用した体験型イベントの開催（林政課）… ③④

都南つどいの森と外山森林公園において、園内の施設や名産のそばなどを活用しながら、市民が気軽に森林や自然に親しめるような体験型のイベントを開催しました。（表4-8、4-9）

表 4-8 都南つどいの森でのイベント開催状況

内容	開催日 ・回数等	参加者数	内容	開催日 ・回数等	参加者数
木工教室	27回開催	81人	グラウンドゴルフ大会	5回開催	172人
あかばやし探検隊	12回開催	299人	木工工作体験	208回開催	241人
大人のあかばやし探検隊	8回開催	79人	山の日イベント	1回開催	44人
森を楽しむワークショップ	10回開催	92人	つどいの森さくら祭り	1回開催	485人
盛岡ユースセンター連携事業	9回開催	128人	つどいの森感謝祭	1回開催	342人

表 4-9 外山森林公園でのイベント開催状況

内容	開催日 ・期間等	参加 者数	内容	開催日 ・期間等	参加 者数
自然観察会と摘草試食	5/15	23人	自然観察会（初秋編）	9/15	10人
シイタケ植菌体験	5/21	24人	紅葉散策と旬のキノコそばを味わおう	10/16	14人
野鳥観察会	5/27	10人	森の素材を使ったリース作り体験	11/16	26人
自然観察会（初夏編）	6/8	7人	外山森林公園サポータークラブ活動	4～11月	延べ246人
クラフト作り・虫取り体験	8/6	6人			

○盛岡市動物公園での取組（公園みどり課）… ③④

環境教育・環境学習推進のため、盛岡市動物公園 ZOOMOでは各種催しを開催しています。

○区界高原少年自然の家での取組（区界高原少年自然の家）… ③④

小中学校団体の林間学校や家族を対象とした主催事業の中での自然体験活動等を通じて、自然環境の保全の大切さについて学ぶ機会を提供しました。本物の自然の中で、自然の美しさやすばらしさを感じ、水・空気・生き物のつながりや自然と人間の生活とのつながりを学ぶことができる学習プログラムの実施及び学習環境の整備により、豊かな自然環境を守り、自然と人間の共生のあり方を考える市民の育成に資することができました。令和5年度は、全体で164団体、延べ13,471人の利用、林間学校では小中学校54校、延べ6,349人、主催事業には延べ953人の参加がありました。

○公民館による環境学習機会の提供（各公民館）… ④

令和5年度は、公民館活動として表4-10のとおり環境関連の講座等を開催しました。

表 4-10 各公民館での講座等の開催状況

公民館名	名 称	内 容 等	開催日 参加者数
中央公民館	岩手大学の森を訪ねて	森林から見た地球環境の変化と今後の自然保護の在り方について考える講座	6/23、11/10 ：延べ21人
	再生可能エネルギーと野生鳥獣の保護	再生可能エネルギーが野生鳥獣に与える影響等自然環境について興味・関心を高め理解を深める講座	12/16 ：延べ11人

○学びの循環推進事業・学習相談事業（中央公民館）… ⑤

おおむね10人以上の市民グループ等が主催する研修会等に講師を派遣する事業です。

令和5年度は、まちづくりコース2回で、のべ57人の参加がありました。（表4-11）

表 4-11 学びの循環推進事業コース名

コース名	内 容	参加者数
まちづくりコース	環境・地球温暖化・省エネ・自然環境保全・ごみ減量とリサイクルに関するメニューを準備し、市民が企画する研修会等に市の職員を派遣します。	57人
専門コース	環境、地球温暖化、微生物などに関するメニューを24種類用意し、市民が企画する学習会に岩手大学の教授等を派遣します。	—
一般コース	豊富な知識や優れた技術を持つ人材を発掘・登録し、講師として派遣します。環境学習の指導者3人を登録し、市民が企画する学習会に講師として派遣します。	—
学習相談事業	各公民館や生涯学習課で、環境学習の指導者の紹介や学習プログラムに関する助言等の学習相談体制を整えています。	—

イ 環境情報の収集・提供

- ① 二酸化炭素排出量等の見える化による取組意欲の向上のため、電気やガス等のエネルギー使用量から二酸化炭素排出量が計算できる環境家計簿等の活用に向けた情報発信を行います。
- ② 年次報告書や環境情報誌を定期的に発行するほか、市のホームページで環境の状況に関する情報や、環境イベント等への参加呼びかけなど、環境情報を提供します。
- ③ 県の環境学習交流センターと連携して環境情報の発信などを行います。

具体的な実施状況

○「もりおかの環境」等の発行（環境企画課）… ②

市の環境施策の状況等を取りまとめた「令和5年度版もりおかの環境（令和4年度環境に関する年次報告書）」の発行や、大気等の測定状況や結果を取りまとめた「令和5年度版環境測定報告書」を作成、公開し、市民への環境に対する意識啓発を行いました。

○「盛岡市緑の基本計画※」の周知（公園みどり課）… ②

盛岡市公式ホームページで「第2次盛岡市緑の基本計画」の情報提供を行いました。

○インターネットを活用した情報提供（公園みどり課）（環境企画課）（景観政策課）… ②

盛岡市公式ホームページの中に環境や緑、都市景観等に関するページを作成し、情報提供を行いました。引き続き、環境や緑に関する様々な情報を提供していきます。

○環境学習交流センター等の活用（環境企画課）… ③

アイーナ内に設置されている環境学習交流センターでは、環境情報の収集・提供、環境学習及び環境保全活動支援を実施しており、市では、環境アドバイザーなどの講師派遣事業を活用し、環境学習を進めています。



環境学習交流センター等の活用
（環境学習講座「ecoキッズ～春の
区界高原を探検しよう！～」）

(3) 施策の方向 環境に配慮した行動の促進

- ① 市が率先して環境マネジメントシステム※に取り組むとともに、事業者に対して環境マネジメントシステムの普及を促進します。
- ② エコマーク商品※など環境保全型商品の利用促進など、環境に配慮した生活を送る消費者（グリーンコンシューマー※）を増やすための啓発を進めます。
- ③ 低農薬・有機農産物、農地の存続や流通段階のエネルギー消費の削減に寄与する地場産品の普及に向けた啓発を進めます。
- ④ 環境に配慮した暮らしや活動について情報の提供を進めるとともに、市民参加による実践活動の推進を図ります。
- ⑤ ESD（持続可能な開発のための教育）の考え方を普及させるとともに、環境に配慮した暮らしや行動を促進します。
- ⑥ 家畜排せつ物等の有効利用による堆肥等の施用や化学肥料・農薬の使用の低減を図り、環境保全型農業、簡易包装の推進など、事業者の環境に配慮した活動を促進するための啓発を進めます。
- ⑦ 市産材の安定した供給や木材利用を推進するため、市民と事業者のネットワークの整備を図ります。

具体的な実施状況

○盛岡市エコオフィスの運用（環境企画課）… ①

平成28年4月から運用される盛岡市エコオフィスの運用について、令和3年4月から第2期計画の運用が始まり、市役所の省エネルギー及び省資源の推進や環境配慮の取組などの環境マネジメントを実施しています。（p.102以降を参照ください。）

○盛岡市農業まつりの開催・産直施設への支援（農政課）… ③

p.44、45を参照してください。

○農薬や化学肥料の適正使用（農政課）… ③⑥

盛岡農業改良普及センターや管内の農業協同組合などと連携を図りながら、病害虫防除員や研修会を通じて、農薬や化学肥料の適正使用の啓発・指導に努めました。

- ・水稲病害虫防除（育苗期） 作付面積：2,939ha、育苗箱数：680,960箱
- ・水稲病害虫防除（本田中期） 薬剤散布面積：2,809.3ha

○「もりおかエコライフ2023」の開催（環境企画課・資源循環推進課）… ④

p.45を参照してください。

○ごみ減量・リサイクル情報について市の広報誌による周知（資源循環推進課）… ④

p.47を参照してください。

○公民館による環境学習機会の提供（各公民館）… ④

p.53を参照してください。

○環境教育映像・環境学習教材の活用（環境企画課）… ④⑤

再生可能エネルギーの活用やごみ減量の取組、節電・省エネルギーなライフスタイルを紹介する環境教育DVDや環境啓発冊子「エコライフのすすめ」を活用し、市民の地球温暖化防止対策への理解を深め、環境に配慮する行動の促進に取り組みました。

○盛岡市子どもエコチャレンジの実施（環境企画課）… ⑤

p.47を参照してください。

○住宅・商業店舗における市産材利用の推進（林政課）… ⑦

市産材の利用促進を図るために、住宅及び店舗の新築、増改築の工事に市産材を使用した場合、建築にかかる経費について一定の補助金を、令和5年度は10件（住宅9件、店舗1件）支給しました。

第2節

施策分野【気候変動】

基本方針2

気候変動対策を推進しながら形成する、
脱炭素社会の実現に向けたまちづくり



1 指標の達成状況

基本方針2「気候変動対策を推進しながら形成する、脱炭素型のまちづくり」における指標の達成状況は次のとおりです。施策の実施状況はp. 58以降に掲載しています。

達成状況は、令和5年度1年間における状況です。

総合的な指標	当初値 *平成29年度	実績値 令和3年度	目標値 令和12年度	目指す 方向	達成状況
温室効果ガスの 総排出量	2,309 千t-CO ₂	2,040 千t-CO ₂	1,702 千t-CO ₂	↘	△ 目指す方向へ向けて2年連続で減少していますが、計画の最終年度を待たず、少しでも早く目標を達成する必要があります。 (達成率44.3%)

* 環境基本計画（第三次）に記載のとおり、平成29年度を当初値とします。

管 理 指 標	当初値 令和元年度	実績値 令和5年度	目標値 令和12年度	目指す 方向	達成状況
市の公共施設の木質バイオマス機器による二酸化炭素排出の削減量	251 t-CO ₂	230 t-CO ₂	650 t-CO ₂	↗	× 令和4年度実績よりは増加していましたが、機器の故障等により利用量が減少したため、目標未達成となりました。 (達成率▲5.2%)
通勤時における自動車の交通利用分担率	67.4%	64.1%	53.0%	↘	△ 令和5年度実績は64.1%であり、目標未達成となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により、不特定多数の人が利用する公共交通利用の自粛が、要因の一つとして考えられます。 (達成率22.9%)（交通政策課）
施業が行われた民有林の面積（間伐・主伐・再造林）	762ha	442ha	997ha	↗	× 当初値よりも数値が減少しています。森林施業の集約化が進んでいないこと、経費に見合った収益が得られないことなどが要因として考えられます。 (達成率▲136.2%)（林政課）

統計情報

① バス利用状況の推移（盛岡地域）

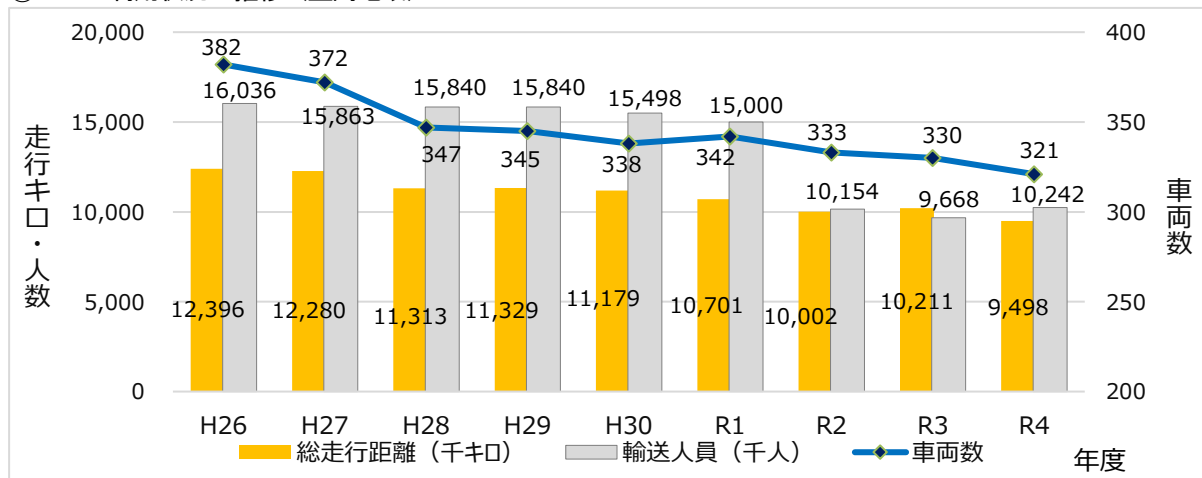
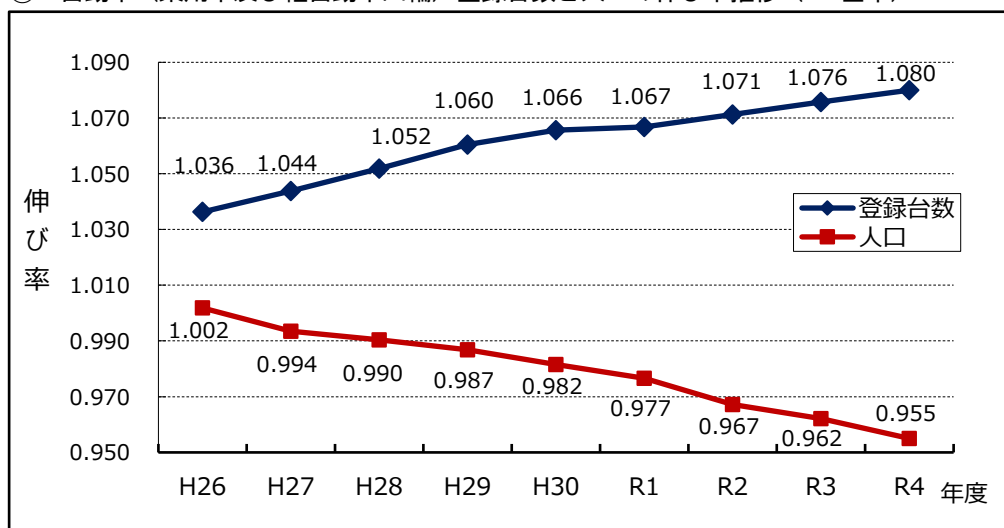


図 4-3 （資料：東北運輸局岩手陸運支局）

② 自動車（乗用車及び軽自動車四輪）登録台数と人口の伸び率推移（H22基準）



※注
図4-3及び図4-4は、各種統計の関係上、令和3年度が最新値となります。

図 4-4 （資料：東北運輸局岩手陸運支局）

③ 人口及び世帯数の推移（国勢調査：各年10月1日現在）

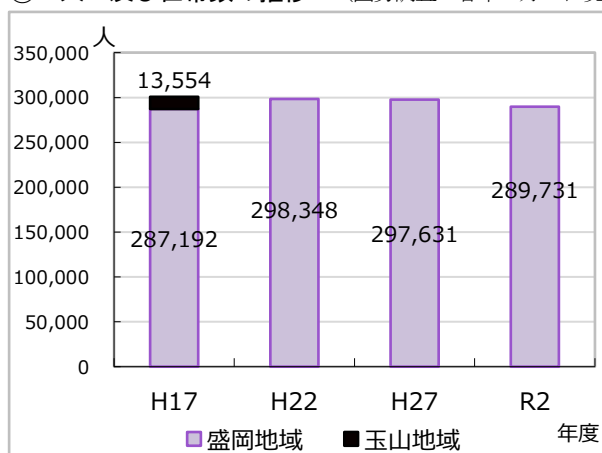


図 4-5 人口の推移

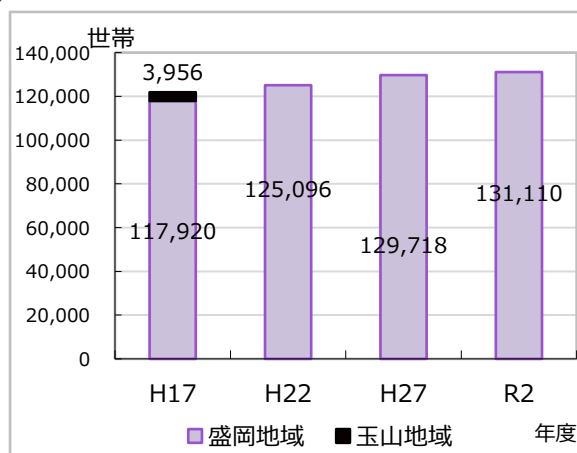


図 4-6 世帯数の推移

2 施策の実施状況

(1) 施策の方向 再生可能エネルギー等の普及促進

- ① チップボイラー、薪ストーブなどの導入を推進し、木質バイオマスの利用を進めます。
- ② 地中熱利用をはじめとする再生可能エネルギー設備の公共施設での導入を検討します。
- ③ 再生可能エネルギーの最新技術の動向などの情報を提供し、普及に努めます。
- ④ 再生可能エネルギーの導入や設備の設置を推進するための具体策について検討します。
- ⑤ 自然環境や景観などにも配慮した適切な再生可能エネルギー設備の設置を促します。
- ⑥ 水素エネルギーに関する情報を収集し、具体的な利活用方法について検討します。

具体的な実施状況

○地球温暖化対策実行計画推進基金の運用・管理（環境企画課）… ①②③④

地球温暖化対策実行計画推進基金を活用し、令和5年度は住宅用太陽光発電システム等設置費補助（6,915千円）やエコライフ推進イベントの開催（1,000千円）など計16事業（14,201千円）を実施しました。

○薪ボイラー及びペレットボイラーの導入（区界高原少年自然の家）… ①

区界高原少年自然の家のボイラー設備の更新に伴い、平成20年度に同様の施設としては国内初となる環境負荷の少ない給湯用薪ボイラーを、平成21年度には暖房用ペレットボイラーを導入し利用しています。

○チップボイラーの導入（産業振興課）… ①

平成24年4月からユートランド姫神においてチップボイラーの利用を開始しました。チップボイラーはメインボイラーとして通年使用し、既存の重油ボイラーは冬季及び一時的に多量の熱を要する場合に補助用として使用しています。導入前の平成23年度と比べ、令和5年度のA重油使用量は32.0%減少し、二酸化炭素排出量が約121t-CO₂削減されました。

○ペレットストーブの導入（環境企画課ほか）… ①

盛岡市気候変動対策実行計画～もりおかゼロカーボン2050～に基づき、木質バイオマス資源の活用を図るため、公共施設にペレットストーブの導入を進めています。令和5年度末現在、19箇所計24台を導入しています。（表4-12）

表 4-12 ペレットストーブの導入状況

年度	施設名	台数	年度	施設名	台数
平成16年度	見前保育園	1台	平成24年度	玉山総合事務所	1台
平成18年度	くりやがわ保育園	1台		ふれあい覆馬場プラザ	2台
平成19年度	さくらがおか保育園	1台		米内浄水場	4台
平成20年度	乙部保育園	1台		市役所若園町分庁舎	1台
平成21年度	太田幼稚園	1台	平成25年度	ユートランド姫神	1台
	米内幼稚園	1台	平成26年度	西部公民館	1台
	好摩幼稚園	1台	平成27年度	仁王地区活動センター	1台
平成22年度	太田保育園	1台		保健所	1台
平成23年度	築川支所	1台	平成28年度	米内浄水場水道記念館	2台
	市役所本庁舎	1台			

○再生可能エネルギーパネル展の開催（環境企画課）… ③

地球温暖化防止パネル展の一環として、再生可能エネルギーの普及啓発を図るパネル展示を行いました。
p.61「地球温暖化に対する意識啓発」の項を参照してください。

○住宅用太陽光発電システム等設置費補助の実施（環境企画課）… ④

地球温暖化対策として太陽エネルギーの活用を促進するため、市内に所在する戸建住宅に太陽光発電システム等を設置する経費に対し、補助金の交付を行いました。市内事業者の利用を補助要件とし、地域内における環境配慮型の投資・消費の活発化を図っています。令和5年度補助実績は114件で、うちHEMS併設は47件でした。

○メガソーラー事業の実施（環境企画課）… ④

地球温暖化対策として再生可能エネルギーの利用促進を図るため、平成24年度にユートランド姫神に隣接する市有地（約3.7ha）に大規模太陽光発電所（メガソーラー）を誘致しました。公募により正式名称を「ソーラーガーデン姫神」に決定し、平成25年4月から発電を開始しています。

- ・事業方式 土地賃貸借
- ・事業期間 20年間（平成24年10月～令和14年9月）
- ・設置容量 約1.8MW
- ・想定年間発電量 約183万kWh（一般家庭約500世帯分の使用量に相当）

○メガソーラー事業の実施（中央卸売市場業務課）… ④

再生可能エネルギーの利用促進を図るとともに、固定価格買取制度の活用により市場の安定経営に資するため、場内の建物屋根や緑地帯にメガソーラーの整備を行い、平成26年4月から発電を開始しています。

- ・事業方式 包括リース（保守管理を含む設備賃貸借）
- ・事業期間 20年間（平成26年4月～令和16年3月）
- ・設置容量 約1.6MW
- ・令和5年度年間発電量 約151万kWh

○ごみ発電の実施（クリーンセンター）… ④

市クリーンセンターでは、ごみを焼却した際に発生する余熱エネルギーの有効利用を図るために、1,570kWの発電能力を有する蒸気タービン発電機を備えた発電所を設置し、施設内の全ての電力をまかなっているほか、余剰電力を売却しています。令和5年度までの過去5年間の実績は表4-13のとおりです。

表 4-13 発電量の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発電電力量（kWh）	11,299,140	9,941,980	9,960,330	10,528,370	9,735,770
売電電力量（kWh）	3,077,080	2,598,370	2,081,901	2,457,810	2,137,050

○ごみ焼却余熱利用施設「ゆびあす」の運営（クリーンセンター）… ④

クリーンセンターの隣接地に、ごみを焼却した際に発生する熱エネルギーを有効利用する屋内温水プール及び浴場並びに屋内運動場などを備えた健康増進施設を建設し、平成14年3月から運営しています。

運営開始からの累計で4,937,354人が施設を利用しています。令和5年度の利用者数は表4-14のとおりです。

表 4-14 ゆびあすの利用状況

（単位：人）

	温水プール	浴場	その他	計
ゆびあす利用者	132,784	77,796	21,527	232,107

○エネルギー地産地消推進に向けた取組（環境企画課）… ④

エネルギー地産地消推進に向けて、平成27年度に実施した盛岡広域圏における再生可能エネルギーを活用した発電量と公共施設などの電力消費量の調査結果を基に、エネルギー地産地消事業を検討しました。令和5年度は、クリーンセンターのバイオマス発電の売電と市内公民館等の電力契約先をプロポーザル方式により決定し、エネルギーの地産地消により、エネルギーの収支改善を図りました。

○再生可能エネルギー施設の適正な設置のための事業者との連携（環境企画課）… ⑤

市内に設置を検討している複数の再生可能エネルギー発電所について、事業主及び周辺地域住民と情報交

換しながら、適正な設置に向けて協力しています。

○つなぎ温泉地域の地熱活用事業の実施（環境企画課）（ものづくり推進課）… ④

平成28年度につなぎ温泉地域の地熱活用事業として、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）による日本で初めてとなる温泉熱を利用した水バイナリー発電[※]実証実験機の設置、国の補助によるつなぎ源泉公園と地熱活用ハウスの整備を実施しました。現在は、バイナリー発電の実証実験やハスクレイ[※]事業化実証試験を行っています。今後も、地熱を活用した新たな魅力の創出と地熱に対する理解促進に向けて取組を進めます。

○木質バイオマス推進に向けた取組（環境企画課ほか）… ④

平成30年3月に策定した「盛岡市木質バイオマス利用促進アクションプラン」は令和4年度までの5年間の計画期間を終えましたが、策定した木質バイオマス機器の活用や導入検討、利用促進についての目標値を達成することはできませんでした。今後は、計画の総括を生かしながら実現可能な施策を展開できるよう、より効果的で本市の実態に即した木質バイオマスのあり方を検討し、取組を進めます。

○農山漁村再生可能エネルギー法による風力発電所設置の推進（環境企画課）… ④

風力発電所の導入を計画している事業者の提案を受けて、平成27年度に盛岡市農山漁村再生可能エネルギー法に基づく協議会を設立し、盛岡市農山漁村再生可能エネルギー法基本計画を策定しました。計画を策定したことで、規制等により風力発電に適しながら設置が困難だった地域に、風力発電所を建設できるようになり、平成31年3月に玉山地域に設置されました。

○水素社会の実現に向けた取組（環境企画課）… ⑥

県や関係機関と連携し、水素を日常生活や産業活動に利活用する社会の実現に向けた取組に関する情報収集を行いました。

(2) 施策の方向 エネルギーの効率的な利用の促進

- ① ZEH[※]（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）やZEB[※]（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）について情報を提供し、普及に努めます。
- ② 公共施設では高断熱・高気密で自然採光や通風に配慮した建築物の導入を図るとともに、高効率照明器具[※]やエネルギーマネジメントシステムの導入を進めるなど、省エネルギー化を推進します。
- ③ 公共施設の省エネルギー化に当たっては、リース事業やESCO事業[※]などを活用することによって、効率的に推進します。
- ④ 節電や冷暖房の設定温度の適正化など省エネルギー型の生活の工夫について、情報を提供するとともに、意識の改革を促します。
- ⑤ バスなどの公共交通や一般車両において、環境負荷の少ない自動車を普及するために、電気自動車等の低燃費車や低公害車の情報を提供します。
- ⑥ アイドリングストップ[※]運動やエコドライブ[※]の促進など自動車の適正運転の普及に努めます。
- ⑦ 地域資源を活用したエネルギーの消費や地域新電力の活用により、エネルギーの地産地消を推進します。
- ⑧ 交通面なども含め、資源・エネルギーの有効利用を進め、今までの生活様式の見直しについて意識の改革を促します。

具体的な実施状況

○電力消費を抑える照明器具の設置（教育委員会総務課）（環境企画課）… ②

令和5年度は、見前小学校・北陵中学校の校舎の改修工事、青山小学校の屋内運動場の改修工事、桜城小学校・厨川小学校・青山小学校・北厨川小学校・緑が丘小学校・高松小学校・下小路中学校・上田中学校・

大宮中学校の校舎のトイレ改修工事、仁王小学校・仙北小学校・津志田小学校・下橋中学校の屋内運動場のトイレ環境整備修繕等において、人感センサー付き照明器具を一部で導入したほか、LED照明の採用に努めました。

○断熱性の高い建築物の公共事業への導入（教育委員会総務課）… ②

校舎増築等工事にあたり、断熱性能の高いサッシを採用するなど、外気との温度差による影響を抑え、建物の省エネルギー化に取り組んでいます。

○地球温暖化対策実行計画推進基金の運用・管理（環境企画課）… ②④

p. 58を参照してください。

○快適ビズの取組（環境企画課）… ④⑧

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」の一環として、日々の気温や仕事環境等に応じた適正な温度での空調使用と、各自の判断による快適で働きやすい服装での勤務を奨励し、地球環境への負荷の低減を図るとともに、市民の地球温暖化防止に関する意識啓発と自主的な行動を呼びかけました。また、広報やホームページ等で取組の啓発を行いました。

○「デコ活～くらしの中のエコろがけ～」の周知（環境企画課）… ④⑧

2050年にCO₂の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボン」の実現に向けて、私たちの行動やライフスタイルを変えていくための国民運動「デコ活」に賛同し、市庁舎や環境パネル展でポスターを掲示して、周知啓発に取り組みました。

○環境教育映像・環境学習教材の活用（環境企画課）… ④⑥⑧

p. 55を参照してください。

○省エネ機器への買替えの促進（環境企画課）… ④

▶ 省エネ家電買替え促進事業

省エネ性能の高いエアコンや冷蔵庫を買い替えた市民に対し市内小売店で利用可能な非接触型商品券「スマートSANSА」を贈呈し、買い替えを促進することで、家庭における温室効果ガス排出量の削減につながりました。

交付件数 1,000件（エアコン304台、冷蔵庫696台）

二酸化炭素削減量 約92t-CO₂

▶ 家庭用照明LED化促進事業

家庭用の照明を省エネ性能の高いLED照明に買い替えた市民に対して地域産米を贈呈し、買い替えを促進することで、家庭における温室効果ガス排出量の削減につながりました。

交付件数 201件

二酸化炭素削減量 約16t-CO₂

○低公害車に関する情報提供（環境企画課）… ⑤

「地球温暖化防止パネル展」での内容紹介や、窓口でのパンフレット配布により情報提供に努めました。

○「もりおかエコライフ2023」の開催（環境企画課）（資源循環推進課）… ⑥⑧

p. 45を参照してください。

○地球温暖化に対する意識啓発（環境企画課）… ⑧

環境月間事業として、広報、横断幕を通じて地球温暖化防止を呼びかけたほか、4回にわたり地球温暖化防止パネル展を行いました。また、地球温暖化防止に関するパンフレットを、パネル展その他各種イベント等の機会に配布して、市民意識の啓発を図りました。

- ・令和5年6月22日(木)～7月9日(日) (都南図書館)
- ・令和5年8月1日(火)～8月30日(月) (岩手県立図書館)
- ・令和5年12月11日(月)～12月18日(月) (盛岡市役所本庁舎)

・令和6年3月13日(水)～3月24日(日) (渋民公民館)

○地球温暖化防止啓発用ステッカーによる意識啓発（環境企画課）… ⑧

地球温暖化防止啓発用ステッカーを公用車に貼り市内を走行することで、市民に地球温暖化の防止を呼びかけました。

(3) 施策の方向 低炭素型のまちづくりの推進

- ① 都市機能の集約や再開発事業等による高密度で複合的な土地利用の推進により、都市活動でのエネルギーの効率的な利用を図ります。
- ② 主要な地域と中心市街地を結ぶ利用しやすい公共交通軸の充実・強化を図り、自家用車利用から公共交通機関の利用への転換を促進します。
- ③ 中心市街地における歩道や自転車走行空間を拡充し、徒歩や自転車での回遊性の向上を図ります。
- ④ 自転車利用の多い路線における自転車走行空間の確保や、自転車駐輪場の整備等により、自転車利用環境を改善し、自転車の利用促進を図ります。
- ⑤ ユニバーサルデザイン※による誰もが利用できる安全で快適な歩行者空間の整備を図ります。
- ⑥ ノーマイカーデーの設定や時差出勤の実施などを進め、交通渋滞の緩和を図り、交通流の円滑化に努めます。
- ⑦ 幹線道路や橋梁の整備、交差点改良、踏切拡幅、道路と鉄道との立体交差など、基盤整備を進め、交通流の円滑化に努めます。
- ⑧ 違法駐車防止の指導や啓発を図り、交通流の円滑化に努めます。
- ⑨ 温室効果ガスであるフロン※などの回収・破壊を進めます。
- ⑩ ウォーカブル推進都市※として、居心地が良く歩きたくなるまちなかを形成します。

具体的な実施状況

○都市の低密な拡大の抑制によるコンパクトな市街地の形成（都市計画課）… ①

p. 35（分野横断的施策）を参照してください。

○民間再開発事業の支援（市街地整備課）… ①

中心市街地での土地利用の効率化・高度化により、複合的機能が適正に集積し、都市活動におけるエネルギーの有効利用が促進されるよう、再開発の指導・支援を行っています。

○ノンステップバス購入補助（交通政策課）… ②

平成23年度より、中古車ノンステップバスを対象に、新たにノンステップバス等導入促進補助金制度を制定し、路線バス車両のバリアフリー化を推進することにより、高齢者、身体障がい者等の市民が路線バスを利用する際の利便性及び安全性の向上を図るとともに、市民の路線バスの利用を促進することとし、令和5年度は1台について補助を行いました。

○公共交通網の再編（交通政策課）… ②

オムニバスタウン計画を踏襲しながら、公共交通に関するマスタープランとして令和元年度に策定した盛岡市地域公共交通網形成計画の施策に基づき、路線バス運行の効率化と路線の見直し・再編のため、関係者との協議を行いました。また、盛岡都市圏地域公共交通計画の策定に向け、バス事業者及び関係機関と協議を行いました。引き続き、路線バス運行の効率化と路線の見直し・再編のため、バス事業者と協議を行っていきます。

○バス利用促進啓発運動（交通政策課）… ②

バス利用の広報活動において、自転車・バイク利用者が交通手段を変更する時期に合わせ、バス利用促進

を呼びかけました。市及びバス事業者等の団体で構成する盛岡市バスの日まつり実行委員会では、令和5年9月23日（土）に盛岡駅西口市用地で「バスの日まつり」を開催し、約2,500人の来場者にバス利用の促進を呼びかけました。また、市とバス事業者で構成する盛岡市内バス運営協議会では、12月からバス利用の広報活動を行いました。

○都心循環バスの運行（交通政策課）… ②

平成12年4月1日から、岩手県交通㈱が一般バス路線として都心循環バス（通称：でんでんむし）の本格運行を行い、平成21年度からは、利用者の要望等を踏まえ、回る方向の区別を明確にするために、バス停及び車両に右周りは赤、左周りは緑の色分けの表示をしています。また、令和3年3月27日からは、岩手県交通㈱が地域連携ICカード「Iwate Green Pass」を導入し、サービスを行っています。都心部の主要な施設を結ぶことから、市民や来訪する観光客、修学旅行生等が多く利用しますが、新型コロナウイルス感染症の影響による減便や利用客の減少により、令和5年度の1日当たりの利用客は約1,600人でした。

○盛岡市総合交通計画に基づくもりおか交通戦略計画の推進（交通政策課）… ②③④⑤

p. 35（分野横断的施策）を参照してください。

○トランジットモール[※]の検討（交通政策課）… ②③

トランジットモールの整備は、地域の合意形成、通行規制の許可（申請）、施設の整備等を複合的に進める必要があります。今後も、「もりおか交通戦略」の整備方針に基づき、周辺道路の整備を進めながら地域の合意形成を図り、歩行者・自転車優先の空間の創出を目指していきます。

○自転車の安全と利用促進（交通政策課）… ③④

平成19年11月に「盛岡市自転車の安全と利用促進に関する計画」を策定し、平成20年4月から「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」を施行して、自転車利用環境の向上及び利用促進に取り組んでいます。令和2年度には、「盛岡市自転車活用推進計画」を策定し、大沢川原及び下ノ橋に新たな自転車走行空間を整備しています。

二輪車の交通手段分担率は、令和5年調査で8.4%となっており、昨年から0.7ポイント減少しました。なお、徒歩は、2.3ポイント増加し、自動車は、2.8ポイント減少しています。

また、無違反の歩行者・自転車が事故にあった件数は、令和5年度においては136件で、昨年度より18件増加しています。

○自転車歩行者専用道路の整備（市街地整備課）（盛岡南整備課）… ③④

令和5年度までの合計で、太田地区土地区画整理事業で2,220mの自転車歩行者専用道路の整備を行い、自転車の利用促進を図っています。（市街地整備課）

令和5年度は、都南中央第三地区土地区画整理事業施行地区内において61mの自転車歩行者専用道路の整備を実施しました。（盛岡南整備課）

○自転車走行空間の整備（道路建設課）… ③④

今後、市道谷地頭線において自転車走行空間整備が予定されています。

○融雪施設の整備（道路管理課）（道路建設課）… ⑤⑦

冬期間の安全な交通環境を確保し、交通流の円滑化を図るため融雪設備の整備を行っており、令和5年度は、市道開運橋明治橋2号線において、車道部15m、歩道部99mを整備しました。

今後も、道路構造、冬季の通行状況や歩行者の快適な回遊性の確保などを勘案の上、融雪設備の整備個所を選定することとしており、市道内丸大沢川原一丁目線（歩道）、市道長橋町3号線外2路線（鹿島前橋）で整備が予定されています。

○歩行者空間の確保（交通政策課）… ⑤⑩

「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」に基づき、盛岡駅前地

区などにおいて歩行者の通行を阻害している放置自転車を撤去するとともに、放置者への指導を行い、歩行空間の確保に努めました。令和5年度の撤去回数は109回で、撤去台数は207台でした。

○ノーマイカーデーの設定や時差出勤の実施（交通政策課）… ⑥

通勤時の混雑を緩和するため、本市のほか岩手県、民間を含む多数の事業所が実施しています。毎週水曜日をノーマイカーデーとし、職員の移動に伴う二酸化炭素排出削減に貢献しました。

○幹線道路の整備（道路建設課）（盛岡南整備課）（市街地整備課）… ⑦

もりおか交通戦略を支える将来道路網計画は、都心環状と市街地環状の2つの環状道路と、公共交通軸となる4車線道路の形成により、自家用車利用を抑制し、公共交通や自転車利用への転換を図ることとしています。令和5年度に整備を進めた幹線道路は、表4-15のとおりです。（道路建設課）

表 4-15 整備を進めた幹線道路

種 類	路線の名称
幹線道路	三本柳線、津志田白沢2号線外

令和5年度は、道明地区土地区画整理事業施行地区内において（都）西仙北北川線の車道57m及び（都）津志田下飯岡線の車道113mの整備を実施しました。また、都南中央第三地区土地区画整理事業施行地区内において（都）岩手飯岡駅三本柳線の車道32m及び歩道74mの整備並びに（都）津志田西見前線の車道126m及び歩道170mの整備を実施しました。（盛岡南整備課）

令和5年度は、幹線道路の整備計画がなく、整備を実施しませんでした。令和6年度は、整備スケジュールに基づき、幹線道路の整備を実施する予定です。（市街地整備課）

○違法駐車防止の指導（くらしの安全課）… ⑧

盛岡市違法駐車等防止条例に基づき、違法駐車等防止重点地域（盛岡駅前地区など3地域）を中心に、交通安全指導専門員が82台の車両の運転手に対し助言やチラシ配布等の啓発活動を行いました。そのうち協力者は30人でした。

○フロン回収・破壊処理（資源循環推進課）… ⑨

オゾン層[※]の保護のため、一般廃棄物として排出された除湿機からフロン類を回収しています。令和5年度は、84.7kgのフロン類を回収しました。

(4) 施策の方向 二酸化炭素吸収源の確保

- ① 森林等の緑の保全により、二酸化炭素吸収源の確保に関する対策を進めます。
- ② 森林の持つ二酸化炭素の吸収機能を高度に発揮させるため、間伐等の保育作業や適時の伐採・再造林等により森林の健全化を図ります。
- ③ 公共施設の改築や新築に当たっては、盛岡市木材利用推進方針[※]に基づき可能な限り木材を利用し、二酸化炭素の固定化に努めます。

具体的な実施状況

○森林の適切な管理による保水能力の維持・向上（上下水道部浄水課）… ①

平成14年度から、中津川上流の森林を水源かん養林として管理し、12.56haにコナラ、ヒノキ等の植林を実施しています。（表4-16）植林地は定期的な保全作業を行い、森林の育成と保水能力の向上に努めており、令和5年度に

表 4-16 植林実績

年度	面積	樹種
平成14年度	3ha	ケヤキ、ヒノキ、ブナ
平成15年度	3ha	ミズナラ、ヒノキ
平成16年度	3ha	コナラ、ヒノキ
平成17年度	3ha	クリ、ヒノキ
平成23年度	0.51ha	コナラ
令和4年度	0.05ha	クヌギ、コナラ、クリ、ケヤキ

は、9.28haの下刈り、作業路草刈、間伐等を実施しました。

○市有林造成事業（林政課）… ①

基本財産の造成と森林の公益的機能の充実を図るため、森林経営計画に基づき、下刈や間伐等の保育作業を実施しました。令和5年度末における市有林面積（市行造林・部分林を含む）は、3,707.93haとなっています。なお、令和5年度において実施した作業は表4-17のとおりです。

表 4-17 市有林作業面積

下刈	2.45ha
除間伐	73.83ha
合計	76.28ha

○農地の炭素貯留や物理化学的な炭素固定技術などについての情報収集（環境企画課）… ①③

脱炭素化に向けて、炭素の固定に関する技術について情報収集し、二酸化炭素の吸収源としての可能性を検討しました。

○森林適正管理推進事業（林政課）… ②

現在、森林所有者の経営意欲が減退し、適正な管理がなされない林分の増加により、森林の公益的機能の低下が危ぶまれています。山林所有者の自己負担を軽減し、森林の適正な管理を推進するため、再造林及び保育作業に係る経費に対し助成を行いました。（表4-18）

表 4-18 民有林除間伐等事業面積

年度	面積
令和3年度	56.73 ha
令和4年度	40.95 ha
令和5年度	64.55 ha

(5) 施策の方向 気候変動への適応

- ① 気候変動の影響による被害を最小限とするため、地域の防災・減災力の強化など、各分野における気候変動適応に関する施策を推進します。
- ② 気候変動の影響について、研究事例等の情報収集や水質のモニタリング等により把握に努めるとともに、影響の回避・低減のための取組について情報提供を行います。
- ③ 暑熱^{*}による生活への影響を軽減する熱中症予防について、市民へ情報提供を行います。
- ④ 感染症に関する情報を市のホームページ等に掲載し、感染症の発生予防及びまん延の防止に努めます。

具体的な実施状況

○熱中症対策への取組（健康増進課）… ③

p. 39（分野横断的施策）を参照してください。

○地下水質検査（環境企画課）… ②

p. 84を参照してください。

○感染対策に係る情報の共有（保健所企画総務課）（指導予防課）（母子健康課）… ②

p. 40（分野横断的施策）を参照してください。

第3節

施策分野【循環型社会】

基本方針3

廃棄物の発生を抑制しながら、 資源を循環利用する社会の形成



1 指標の達成状況

基本方針3「廃棄物の発生を抑制しながら、資源を循環利用する社会の形成」における指標の達成状況は次のとおりです。環境の状況はp. 7に掲載しています。

達成状況は、令和5年度1年間における状況です。

総合的な指標	当初値 令和元年度	実績値 令和5年度	目標値 令和8年度	目指す 方向	達成状況
ごみ総排出量	108,210 t	95,304 t	101,196 t	↘	◎ 達成（達成率184.0%） （廃棄物対策課）

管 理 指 標	当初値 令和元年度	実績値 令和5年度	目標値 令和8年度	目指す 方向	達成状況
家庭ごみ(資源を除く)の1人1日当たりの排出量	480 g	452 g	443 g	↘	○ 令和5年度末時点では目標未達成ですが、順調に減少しており、令和8年度には目標を達成できる見込みです（達成率75.6%） （廃棄物対策課）
事業系一般廃棄物の年間排出量	41,445 t	35,328 t	38,088 t	↘	◎ 達成（達成率182.2%） （廃棄物対策課）
資源率 ((行政回収資源量+資源集団回収量)/家庭ごみ総排出量)	23.1%	21.8%	28.3%	↗	× 家庭ごみ総排出量が減少しましたが、資源の回収量も減少したため、全体としては微減となりました。当初値を上回ることができず、目標は未達成でした。 （達成率▲25.0%） （廃棄物対策課）

※上記4つの指標の令和8年度目標値は、盛岡市一般廃棄物処理基本計画（平成29年3月改定）の令和4年3月中間見直し後の数値を記載。

2 施策の実施状況

(1) 施策の方向 3Rの推進

ア 家庭ごみの減量

- ① 地域の特徴に沿った啓発と実践行動の促進に取り組み、一人ひとりのごみの減量と資源再利用の意識醸成を図ります。
- ② 資源集団回収の促進等、資源やごみを起点に地域コミュニティの活性化につなげます。
- ③ 地域において資源を保管するための施設（ストックヤード）の設置等について支援します。
- ④ フードバンクポスト※活用、フードドライブの実施を通じて未利用食品廃棄物の削減及び活用に努めます。
- ⑤ 各家庭でできる生ごみの減量方法を紹介するほか、生ごみの資源化方法について調査・研究を進めます。
- ⑥ 小売業者や市民団体と連携し、プラスチックごみの減量を目指したライフスタイルを提案します。

具体的な実施状況

○「盛岡市ごみ減量化行動計画」の推進（資源循環推進課）… ①

市民・事業者・市それぞれの役割と具体的な取組を実行するため「盛岡市ごみ減量化行動計画」の第3期計画を令和4年3月に策定し、各施策に取り組みました。

○資源集団回収への支援（資源循環推進課）… ②

▶ 資源回収器具の貸出

ごみの減量と資源の有効利用のため、子ども会や町内会・自治会等の市民団体が行う資源集団回収の活性化を目的に、資源集団回収器具の貸出を実施しました。貸出状況は、表4-19のとおりです。

表 4-19 資源集団回収器具貸出状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件数	190	104	106	107	107
台数	309	175	166	175	179

▶ 資源集団回収事業報奨金の交付

子ども会、町内会・自治会等が行っている資源集団回収事業に対して1回500円（6,000円限度）と、回収した資源の重量1kgにつき4.5円の合計金額を報奨金として交付しました。令和5年度の活動団体や交付金額などの状況は、表4-20のとおりです。

▶ 資源集団回収活動優良団体の表彰

積極的な資源集団回収活動を促進するため、平成5年度から優良な回収実績を上げた市民団体を表彰しています。令和5年度は、8団体を表彰しました。

表 4-20 資源集団回収事業報奨金の交付額等の状況

報奨金交付団体数	402
実施回数	2,046
回収量（t）	3,348
報奨金交付額（円）	16,064,753

○地域循環型生ごみ処理推進事業（資源循環推進課）… ⑤

西青山三丁目公民館及び厨川五丁目に市が設置した大型生ごみ処理機で、地域から持ち寄った生ごみをたい肥化して地域で利用しました。令和5年度は、2地区で1,643kgの生ごみを投入しました。

○容器包装リサイクル法の推進（資源循環推進課）… ⑥

びん、缶、ペットボトルの分別収集を実施しているほか、ごみ減量・リサイクル協力店で飲用紙パックや白色トレイの店頭回収を促進するとともに、平成22年8月からは、盛岡・都南地域でプラスチック製と紙製の容器包装、平成28年10月から玉山地域でプラスチック製容器包装の分別収集を実施しました。資源化量の

状況は、表4-21のとおりです。

また、容器包装の発生抑制及び容器包装廃棄物の資源化を目的とした「容器包装廃棄物削減への取組に関する協定」を締結している小売業者、市民団体及び市の三者で、容器包装廃棄物減量強化月間（10月）を設定し、ポスター掲示等による啓発活動を行ったほか、毎年意見交換を行っています。

表 4-21 資源化量の状況

(単位: t)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
金属類（アルミ、鉄等）	3,345	3,103	2,945	2,796
びん・ガラス類	1,875	1,878	1,747	1,694
ペットボトル	784	839	852	888
容器包装（プラ）	1,735	1,924	1,960	1,930
容器包装（紙製）	100	50	100	89
ペットボトルキャップ	3	5	5	5
計	7,842	7,799	7,609	7,402

イ 事業系ごみの減量

- ① 業種や事業規模に応じた排出傾向を把握し、効果的な指導助言を展開します。
- ② 事業者に対して紙類やびん・缶・ペットボトルなどの資源化を働きかけます。
- ③ 飲食店等と連携して、事業系食品ロスの削減を図ります。

具体的な実施状況

○事業系一般廃棄物の減量と適正処理の推進（資源循環推進課）… ①②③

事業活動に伴って生じる一般廃棄物の減量と適正な処理を推進するため、事業系一般廃棄物を多量に排出する事業者から「事業系一般廃棄物減量等計画書」及び報告書の提出を求めています。

また、令和2年度から、盛岡地域において、クリーンセンターにおける事業系古紙類の搬入規制を開始し、資源化可能な古紙類の分別の徹底と資源化を促しました。併せて、クリーンセンター及びリサイクルセンターにおいて、定期的に搬入物の確認を行い、不適正ごみの搬入を防いでいます。

○中央卸売市場のごみの再利用及び減量化（中央卸売市場業務課）… ②

市場全体で廃棄物の減量、分別に取り組み、野菜くずをたい肥等に、廃プラスチックを再生プラスチック原料に再資源化しています。野菜くずの分別は平成20年3月から実施し、令和5年度は可燃ごみ全体量903,380kgに対して野菜くずは649,410kgとなっており、全体の約7割を占めています。また、廃プラスチックは平成27年7月から実施し、令和5年度には、34,169kgを分別排出しています。

(2) 施策の方向 廃棄物の適正処理の推進

ア ごみの処理

- ① ごみの処理に当たっては、処理施設からの排ガスの性状や放流水の水質に係る検査を徹底するなど公害の防止に努め、周辺環境の保全に配慮しながら適正処理を進めます。
- ② 自動車タイヤなど適正処理が困難な一般廃棄物について、市民及び事業者との協力体制を構築するなどして適正処理の確保に努めます。
- ③ 産業廃棄物の適正処理が推進されるよう指導するとともに、関連情報を幅広く収集し、ニーズに沿った確かな情報を事業者へ提供します。

具体的な実施状況

○産業廃棄物の適正処理（廃棄物対策課）…①

産業廃棄物処理業等の許可事務、立入検査及び適正処理指導の実施、県との共催による排出事業者等説明会の開催など産業廃棄物の適正処理の推進に努めました。令和5年度の立入検査件数は71件、産業廃棄物の不適正処理等に対する行政処分件数は0件でした。

○PCB廃棄物の適正処理（廃棄物対策課）…③

PCB廃棄物の保管事業者への立入検査（フォローアップ調査）及び適正処理指導、未回答事業者への最終通知の発出などを行い、処理期限までのPCB廃棄物の適正処理の推進に努めました。

令和5年度末が処理期限となっていた安定器は全て処理が完了しました。また、令和5年度の立入検査件数は8件でした。

令和9年度末が処理期限となる低濃度PCB廃棄物の適正処理に向け、引き続き、立入検査や適正処理指導など、PCB廃棄物保管業者・関係団体と共にPCB廃棄物の適正処理の推進に努めます。

○ごみの適正処理（クリーンセンター）…①

市クリーンセンターでは、公害の発生を防止し地域住民の健康で快適な生活環境を保全するために、地元町内会と公害防止協定を締結するとともに、排ガス及び周辺大気質の環境モニタリングを実施するなど環境保全に配慮しながらごみの適正処理を進めています。

環境モニタリングの内容については、ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素等は常時測定を、また、ダイオキシン類、騒音、臭気、水質等については、毎年、随時測定を行っています。ダイオキシン類濃度における令和5年度環境モニタリング調査結果は表4-22のとおりで、いずれも国の基準や市の自己規制値を下回っています。

表 4-22 煙突出口排ガス中ダイオキシン類濃度

1号炉	0.00000078
2号炉	0.00084
3号炉	0.00015
国の基準	1
自己規制値	0.1

[単位：ng-TEQ/Nm³**]

○特殊・危険なごみの適正処理（資源循環推進課）…②

自動車のタイヤ、バッテリーなどの特殊・危険なごみについては、適正に処理するよう市民への周知を図るとともに、盛岡地域においては、平成28年度から持ち込みによるバッテリーの回収を実施しました。ごみ集積場所に出されたタイヤについては6件指導し6本回収、バッテリーについては5件指導し8個回収しました。

○産業廃棄物の適正処理に関する県との情報交換（廃棄物対策課）…③

産業廃棄物の適正処理を推進するため、事業者による適正処理及び不法投棄の状況等について県との情報交換に努めました。

イ し尿の処理

- ① し尿・浄化槽汚泥については、関係一部事務組合との連携を図りながら、適正処理を進めます。

具体的な実施状況

○し尿等の適正処理の推進（廃棄物対策課）…①

盛岡地域及び都南地域から排出されるし尿等は滝沢市にある盛岡地区衛生処理組合で、玉山地域から排出されるし尿等は八幡平市にある盛岡北部行政事務組合でそれぞれ処理されています。今後も各一部事務組合と連携を図りながら、し尿等の適正処理に努めます。

また、令和4年10月1日から盛岡地域及び都南地域のし尿等くみ取り料金を改定するとともに、利用者の家計負担の増加を緩和する措置を講じました。し尿等の発生量が減少傾向にある中で、今後も安定的かつ適正なし尿等収集運搬体制の維持・確保に向け、検討を進めます。

○汚水処理施設から発生する浄化槽汚泥の処理

（上下水道部下水道施設管理課）（上下水道部玉山事務所）… ①

市で維持管理している汚水処理施設として、農業集落排水処理施設6箇所（太田、太田第二、上飯岡、下飯岡、乙部、乙部第二）が設置されており、ここから発生する浄化槽汚泥は、盛岡地区衛生処理組合で処理を行っています。令和5年度は合計で2862.5m³の浄化槽汚泥を処理しました。（上下水道部下水道施設管理課）

巻堀地区農業集落排水処理施設と盛岡市公設浄化槽124基から発生した浄化槽汚泥は、盛岡北部行政事務組合で処理を行っています。令和5年度は合計551.0m³の浄化槽汚泥を処理しました。（上下水道部玉山事務所）

(3) 施策の方向 不法投棄の防止と環境美化の推進

- ① 不法投棄を防止するため、パトロールを継続するとともに、看板の設置などによる啓発を進めます。
- ② 民間団体による自主的な環境美化活動への支援を進めます。
- ③ 公共の場所などの清潔の保持など、市民の環境美化意識を高揚させるための啓発を行い、全市的な環境美化活動の実施と定着を図ります。
- ④ たばこの吸い殻などのごみのポイ捨て防止のために、歩道に表示を行うなど、マナー向上の啓発に努めます。
- ⑤ ごみ集積場所の適正な管理を支援します。
- ⑥ 河川等を経て海へ流出するごみを抑制するため、河川の清掃活動を促進します。

具体的な実施状況

○不法投棄の防止対策（廃棄物対策課）… ①③④

廃棄物適正処理指導員3名による日常的な不法投棄の監視パトロールを実施しているほか、不法投棄監視員14名を配置し、山間部等の巡回も行っています。さらに、未然防止策として、不法投棄発生場所に監視カメラを設置しています。令和5年度は94件の不法投棄を確認しました。

○市民団体への支援（環境企画課）（資源循環推進課）（廃棄物対策課）… ②

「“世界につながるまち盛岡”市民会議」の環境美化運動、「綱取ダムの環境と清流を守る会」や「御所湖の清流を守る会」の河川周辺環境美化への取組など市民団体が実施している環境美化活動に共に取り組みとともに、集められたごみの回収等の支援を行いました。

○清掃週間の実施（資源循環推進課）… ②③④

春と秋の2回、盛岡市町内会連合会、玉山地域自治会連絡協議会及びきれいなまち推進協議会と連携し、地域の公園や道路の清掃を呼び掛けるなど、市民による環境美化運動を推進しました。町内会・自治会等が泥上げした側溝汚泥を、延べ63件回収しました。

○ポイ捨て禁止対策（廃棄物対策課）… ③④

令和5年9月に「ポイ捨てごみ計数調査」を実施し、中央通におけるポイ捨てごみは前年度212個であったのに対し、122個という結果でした。

また、市内151箇所に設置されているポイ捨て禁止啓発シールについて、令和5年度は劣化が見られる30枚の貼り替えを行いました。

○ごみの適正排出の指導（資源循環推進課）… ③

全世帯に、資源とごみの分け方・出し方を示したカレンダーを配布するとともに、資源・ごみ分別アプリなどを活用し、ごみの分別と適正な出し方について周知啓発しました。

また、使用済み小型家電については、市内各所に設置した回収ボックスによる拠点回収のほか、宅配便を利用した回収事業者と協定を締結し、市民の利便性を高め、資源化を推進しています。

○ごみ集積場所の適正管理指導（資源循環推進課）… ⑤

家庭から排出される廃棄物の適正な処理や清潔の保持を推進するため、きれいなまち推進員を通じて、町内会・自治会等が管理しているごみ集積場所の管理の指導やごみの分別、適正な出し方の指導を行っています。令和5年度末で、きれいなまち推進員を429人委嘱しています。

○ごみ集積場所等整備事業補助（資源循環推進課）… ⑤

ごみ集積場所と資源一時保管場所整備のため、経費の2分の1に相当する額以内の額（ごみ集積場所の場合は限度額7万円、資源一時保管場所整備の場合は10万円）を交付しました。補助金の交付団体数は、表4-23のとおりです。

表 4-23 ごみ集積場所等整備事業補助金交付団体の推移

(単位：件数)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ごみ集積場所整備補助	115	100	77	58	49
資源一時保管場所整備補助	6	6	3	3	0

第4節

施策分野【自然環境】

基本方針4

生物多様性を確保しながら、
人と自然が共生できる社会の形成



1 指標の達成状況

基本方針4「生物多様性を確保しながら、人と自然が共生できる社会の形成」における指標及び達成状況は次のとおりです。環境の状況はp. 11に掲載しています。

達成状況は、令和5年度1年間における状況です。

総合的な指標	当初値 令和元年度	実績値 令和5年度	目標値 令和12年度	目指す 方向	達成状況
まちづくり評価アンケート調査で「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合	80.4%	77.4%	86.0%	↗	× 当初値よりも減少しており、今後一層の「盛岡市自然環境及び歴史的環境保全計画（生物多様性地域戦略）」に基づく取組が必要です。（達成率▲53.6%）
まちづくり評価アンケート調査で「公園や街路樹などのまちの中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	77.2%	74.9%	80.0%	↗	× 当初値よりも減少しており、第2次盛岡市緑の基本計画に基づき、計画的に公園整備を行うなど、街の中の緑化に努める必要があります。（達成率▲82.1%） (公園みどり課)

管 理 指 標	当初値 令和元年度	実績値 令和5年度	目標値 令和12年度	目指す 方向	達成状況
市域における森林区域の割合	73.2%	73.1%	73.2%	→	○ 当初値からほぼ増減はありません。（当初値からの減少率0.1%） (林政課)
市域における農用地区域の割合	8.5%	8.4%	8.5%	→	○ 当初値からほぼ増減はありません。生産性の高い農地を農用地区域に設定するなど、農用地区域の確保に努める必要があります。（当初値からの減少率0.1%） (農政課)

参 考 指 標	令和3年度	令和4年度	令和5年度
河川に遡上するサケの回帰率（雫石川）	0.01%	0.02%	0.0%
河川に遡上するサケの回帰率（築川）	0.03%	0.01%	0%
市内で確認されるガンカモ類の飛来数(観測地点:19地点)	2,561羽	2,054羽	3,602羽

参 考 指 標	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公共空間へのハンギングバスケット設置数	573個	560個	560個

2 施策の実施状況

(1) 施策の方向 森林・農地・水辺の保全

ア 森林の保全

- ① 土地利用計画に基づく土地利用の適正化を進め、森林の保全を図ります。
- ② 水源かん養機能など森林が有する多様な公益的機能を恒久的に発揮させるため、複層林施業[※]や長伐期施業[※]の導入など、生育状況や森林の保全に配慮した林業生産活動の促進を図ります。
- ③ 森林を適切に保全するため、市産材利用を促進します。
- ④ 森林巡視により、病虫害や森林火災など森林被害の防止に努めます。
- ⑤ 林内作業道等、林業生産基盤の整備を支援し、森林資源の循環を図ります。
- ⑥ 森林の持つ保水能力の維持・向上のため、森林の適切な維持管理に努めます。
- ⑦ 水道水源の保全を目的とする各種施策を推進します。

具体的な実施状況

○貴重な自然植生などの保全のための地区指定の検討（林政課）… ①

森林法に基づく盛岡市森林整備計画の中で、特に生態系の保全機能の維持推進を図るため、生態系保全を目的とした保健機能森林として240.31haを設定しています。

○市有林造成事業（林政課）… ①②

p. 65を参照してください。

○平成市民の森整備事業（林政課）… ②

快適な市民生活に欠かすことのできない森林資源を健全な状態で後世に引き継ぐことを目的として、平成市民の森において植栽地整備及び遊歩道整備等を実施しました。

○森林の適切な管理による保水能力の維持・向上（上下水道部浄水課）… ②⑥

p. 64を参照してください。

○森林適正管理推進事業（林政課）… ②

p. 65を参照してください。

○森林保全巡視業務（林政課）… ④

森林の保全及び適正な維持管理を推進するため、森林の無許可・無届伐採や災害の早期発見、間伐を必要とする林分の抽出等に係る巡視業務及び調査・指導を盛岡広域森林組合に委託して、その強化を図りました。令和5年度は、68回の半日巡視を実施しました。

○山火事防止広報活動（林政課）… ④

森林に多大な損害を与える森林火災を未然に防ぐために、4・5月に市内の山間部を広報車で巡回し、入山者や地域住民に火気の取扱いについて注意を促しました。業務は例年、民間業者に委託しており、令和5年度は12日の巡回を実施しました。

○松くい虫被害防止対策事業の実施（林政課）… ④

本市の松くい虫被害については、平成21年10月に大ヶ生地区で初めて確認されて以来、被害地域及び被害量ともに拡大しました。平成26年度は、玉山地域馬場地区で新たに被害が確認され、令和5年度も玉山地域で継続して被害が発生しています。対策として、松くい虫被害木の伐採、くん蒸等の作業により、被害先端地域を中心に、徹底駆除を行いました。（表4-24）

○林道橋梁補修事業（林政課）… ⑤

令和4年度は林道橋梁点検により、早期に措置を講ずべき状態（判定区分

表 4-24 駆除実績

年度	駆除量
平成30年度	556.00m ³
令和元年度	424.33m ³
令和2年度	280.18m ³
令和3年度	323.38m ³
令和4年度	255.20m ³
令和5年度	252.48m ³

Ⅲ) と判定された橋梁1橋の補修設計を実施しましたが、令和5年度は実施しませんでした。

○水道水源の保全を目的とする制度（上下水道部浄水課）… ⑦

水道水源保護条例に基づき、啓発と水道水源汚染防止に努めた結果、水道水源の原水水質を良好に維持しています。また、平成6年度から水道水源集水区域内の浄化槽設置者に対して補助金を交付し、浄化槽の設置を促進することで、河川へのBOD排出量の縮減が進んでいます。令和5年度は1件の浄化槽設置補助金の交付を行いました。

イ 農地の保全

- ① 土地利用の適正化により、集团的優良農地を確保します。
- ② 土地の利用集積を進めることによって農業経営安定化を図るとともに、農地の有効活用を進めます。
- ③ 家畜排せつ物等の有効利用による、堆肥等の施用や、化学肥料・農薬の使用の低減を図り、生態系や自然環境に配慮した環境保全型農業経営を推進します。
- ④ 農地の適切な維持管理などにより、荒廃農地の発生防止に努めます。
- ⑤ 農用地内の用排水路などの水利施設の整備に当たっては、環境に配慮するよう努めます。

具体的な実施状況

○農業振興地域整備計画の見直し及び管理（農政課）… ①

「農業振興地域の整備に関する法律」に基づいて定めた農業振興地域整備計画により、総合的な農業の振興を図り、農地を確保することを目的として、適正な農用地管理を行いました。（表4-25）

表 4-25 農業振興地域農用地区域面積

（単位：ha）

地 域		農 地	農業用施設	その他	計
盛 岡	見直し前	3,906	9	0	3,915
	見直し後	3,893	10	0	3,902
玉 山	見直し前	3,152	29	402	3,583
	見直し後	3,139	29	402	3,570
計	見直し前	7,058	38	402	7,498
	見直し後	7,032	38	402	7,473

注1 端数調整により、合計面積と地域別面積が一致しない場合があります。

○農家への支援（農政課）… ①②③

農作物の産地形成に向け、地域の中心的な農業者で組織された団体へかんしょつる切り機、ねぎ収穫機、ねぎ葉切り・皮むき機の導入を支援しました。また、農家経営の安定と所得の向上を図るため、早期多収及び省力化を図ることができる「りんごわい化栽培」のための苗木（552本）及び支柱（125本）の導入を支援しました。

このほか、事前の周辺環境調査や園地内における定期的な病虫害予察調査の実施を支援し、農薬の使用を低減する防除技術の普及に努めました。

○農業経営の安定化と農地の保全（農政課）… ②

盛岡市農業委員会や農地中間管理機構である岩手県農業公社と連携し、農地中間管理事業等による利用権設定を推進することにより、認定農業者を中心とした担い手に農地を集積・集約し、経営的に安定した農業者を育成することで、農地の保全を図っています。令和6年3月末時点で、約3,885haの農地が認定農業者を中心とした担い手に集積されています。

○有機物資源活用施設利用による牛ふん堆肥化処理（産業振興課）… ③

有機物資源活用施設（通称：ひめかみ有機センター）において、耕畜連携と資源循環型農業の推進を図るため、玉山地域内の畜産農家7戸から牛ふん2,692tを受け入れ堆肥化処理を行いました。

○環境保全型農業の推進（農政課）（産業振興課）… ③

化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減する農作物の栽培を行うとともに、農地土壌へ緑肥をすき込む等の炭素貯留効果のある営農活動や、有機農業等の生物多様性の保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者に対し、国・県とともに補助金を交付します。令和5年度の取組実績は次のとおりです。

- ・取組団体件数 7団体7件（取組人数 195人）
- ・取組面積 12,878a
- ・交付金額 10,336,000円（うち市負担額 2,584,000円）
- ・取組内容 有機農業（化学肥料及び農薬を使用しない取組）3組
カバークロップ（主作物の栽培期間前後いずれかに小麦などの緑肥等を作付けする取組）1組
総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた畦畔除草及び秋耕の実施 1組
総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた交信攪乱剤による害虫防除の実施 2組

○荒廃農地対策（農政課）… ④

市内の荒廃農地の全体調査を行い、地区ごとの荒廃農地を整理しました。また、新たな担い手が行う再生作業等のため、国の交付金を交付する事務手続き等の支援を行いました。

- ・農地面積 … (A) 8,600ha
- ・荒廃農地面積（未解消） … (B) 7.6ha
- ・荒廃農地面積の割合 … (B/A) 0.09%（令和5年度末現在）

今後は、農業を取り巻く環境（高齢化、担い手不足）が喫緊の課題であることから、農業委員を中心に関係機関及び団体と連携して担い手の確保を図るとともに、平成26年度から始まった農地中間管理事業を活用し、遊休農地の荒廃農地化を未然に防止します。

○環境に配慮した農業用水路の整備（農政課）… ⑤

令和5年度は、農業用水路整備について、該当する工事がありませんでした。

ウ 水辺の保全

- ① 河川や湖沼周辺の自然を保護する意識の高揚を図ります。
- ② 多様な生物が生育できる水辺づくりや水質浄化機能の向上を図るため、河川や水路の整備に当たっては、多自然型工法※など、環境に配慮した工法を採用します。

具体的な実施状況

○「盛岡市緑の基本計画」の周知（公園みどり課）… ①

p.54を参照してください。

○環境に配慮した工法の採用（河川課）… ②

河川整備に当たり、多様な植物や魚類等の生物が生育できるよう環境に配慮したコンクリートブロック積工（植生型）やカゴ護岸工を採用しています。令和5年度は、コンクリートブロック積（植生型）を72m、かごマットを53m実施しました。

(2) 施策の方向 野生動植物の生息・生活環境の保全と人との共生

- ① 希少野生動植物の保護を図るため、関係機関と連携し、生息・生育環境の保全・再生を進めるとともに、開発事業者に対し、自然環境への配慮に関する指導を行います。
- ② 既存生態系の維持を図るため、外来種による被害対策を推進します。
- ③ 野生鳥獣と人が共存するための施策を推進し、農作物や生活環境への被害を防止するなど、野生鳥獣との適切な関係の構築に努めます。
- ④ 鳥獣保護区等の設定については、関係機関と連携して適切に設定します。
- ⑤ 動植物の生息状況などの調査を継続的に実施し、野生動植物の把握や保護に努めるとともに、野生動

植物の保護に関する啓発を行います。

- ⑥ 動植物の生息・生育環境が孤立しないよう、水と緑のうるおいのあるまちづくりを推進します。
- ⑦ 渡り鳥が活動する河川、湖沼、水田などの保全に努めます。
- ⑧ 開発行為等に当たっての自然環境への配慮の促進を図ります。
- ⑨ 河川や水路の整備に当たっては、多自然工法など水辺の環境の保全や緑の創出に配慮した工法を採用します。
- ⑩ 環境保護地区などの新たな指定や拡大について検討するとともに、その維持管理の支援を行います。
- ⑪ 動植物の生息状況などの調査を継続的に実施し、生息・生育環境の状態の把握に努めます。

具体的な実施状況

○国指定天然記念物イヌワシの保護（歴史文化課）… ①

平成7年度から平成9年度にかけてイヌワシの営巣地一帯の山林93haを取得し、保護を図っています。市の文化財保護巡視員による営巣地の状況や繁殖活動について目視調査や情報収集を行いました。

○特別天然記念物カモシカの保護（歴史文化課）… ①⑤

盛岡市動物公園の協力を得て、傷病個体の保護・放獣を行ったほか、事故等で死亡した個体の滅失処理を行いました。令和5年度の対応状況は、次のとおりです。

- ・保護、放獣件数：8件（8頭）
- ・保護、滅失件数：1件（1頭）
- ・滅失処理件数：17件（17頭）

○魚族の保護育成（農政課）… ①

魚族の保護育成のために、内水面漁業協同組合が行っている河川へのアユ、ヤマメ、サケ等の稚魚の放流・育成などの繁殖保護事業に対して支援を行いました。令和5年度の稚魚放流数は次のとおりです。

- ・築川、根田茂川：アユ300kg、ヤマメ200kg、イワナ30kg、サケ14万尾
- ・雫石川、諸葛川：アユ70kg、ヤマメ30kg、イワナ5kg、サケ11.1万尾

○外来生物対策の推進（環境企画課）… ②③

外来生物については、地域の生物多様性を保全するため、ホームページを通じて市民への周知活動を行い、防除の推進に努めました。

○有害獣が出にくい環境づくり（農政課）… ③

ツキノワグマの出没が多い猪去地区において、地元自治会を中心に岩手大学、盛岡猟友会等と共同で農地周辺域での緩衝帯整備（下草刈、枝払い）や電気柵の設置を行いました。

- ・令和5年度 5回実施、参加者延べ183人

○有害獣の被害防止と保全対策（公園みどり課）… ③

被害を与えるツキノワグマの有害獣駆除に当たり、錯誤捕獲された個体の麻酔不動化と移動放獣に協力したほか、集落や町中に出没した場合の対応について、関係部署と協議を進め危機管理としての対策の構築（机上訓練と実地訓練など）に協力しました。

また、畑の被害防護ネットにかかったニホンジカの救護及び放獣並びに交通事故で死亡したニホンジカの解体（ゴミ処理）に協力しました。

○有害鳥獣捕獲等（農政課）（環境企画課）… ③④

有害鳥獣捕獲は、人身被害や農作物被害が生じた、或いは生じる恐れがある場合に、その防止又は軽減を図る目的で行われており、捕獲従事者の適正な捕獲の実施に係る確認や指導を行っています。（表4-26）

また、近年、ニホンジカ、イノシシ及びツキノワグマによる農作物被害が拡大していることから、盛岡猟友会等と連携し、個体数の管理に努めました。

なお、鳥獣保護区の設定等について、県に協力して対応しました。

表 4-26 有害鳥獣捕獲実績

	カラス ハシブト	カラス ハシボソ	カラス のヒナ	カルガモ	ヒヨドリ	ムクドリ	キジバト	スズメ	ゴイサギ	ドバト	ハクビシン	タヌキ	アナグマ	ニホンジカ	イノシシ	ツキノワ グマ
R 3	646	621	0	870	183	183	174	58	0	73	22	6	0	148	8	23
R 4	656	530	1	752	160	160	180	60	0	60	26	12	1	197	25	22
R 5	553	535	0	642	130	130	210	90	0	60	32	22	3	305	22	62

○レッドデータブック*作成と愛護意識の高揚（環境企画課）… ⑤

これまでに実施してきた自然環境調査や、平成18年度から着手した玉山地域の自然環境調査の結果について、積極的に県に情報提供するなど、現在県が改訂作業を進めている県版レッドデータブックの改訂作業に協力しています。なお、これまで市が実施してきた自然環境調査においても、県版レッドデータブックが活用されています。

○幼傷病鳥獣の救護（公園みどり課）… ⑤

親とはぐれた幼鳥獣の育成や傷病のために保護された鳥獣の診療検査を行い、治癒回復したものは放鳥獣しました。また、死亡したものはその原因検査などを行いました。

・保護総数 2種5点（哺乳類1種4点、鳥類1種1点）

○動植物の生息状況の調査（環境企画課）… ⑤

自然環境保全に係る施策を展開するために以下のとおり、「自然環境調査」を行いました。（表4-27）

表 4-27 自然環境調査

実施年度	主な調査対象範囲
昭和48年度～昭和52年度	旧盛岡市域
平成2年度～平成6年度	盛岡地域および都南地域
平成14年度～平成17年度	盛岡地域および都南地域
平成18年度～平成22年度	玉山地域
令和5年度～令和7年度	全市域

○公園・緑地の整備（公園みどり課）… ⑥

「第2次盛岡市緑の基本計画」に基づき太田地区区画整理事業等に伴う公園の整備を行いました。公園等の整備により、令和5年度は、0.42haを都市公園として開設し、緑と水のネットワークの形成に努めました。

○渡り鳥が活動する河川、湖沼、水田などの保全（環境企画課）… ⑦

高松の池や中津川でのブッシュの保全や草刈り時の配慮など、河川管理者や公園管理者等、関係機関や関係部署が連携し、それぞれ保全に努めています。

○開発行為に当たっての自然環境への配慮の促進（都市計画課）… ⑧

開発行為の指導に当たっては、自然環境の保全・促進等に配慮しており、令和5年度は12件の開発行為許可申請について、宅地・法面保護の緑地化及び開発区域3,000㎡以上については公園・緑地設置の指導を行いました。

○環境に配慮した工法の採用（河川課）… ⑨

p. 75を参照してください。

○環境保護地区などの指定の拡大やその維持管理の支援（環境企画課）… ⑩

環境保護地区の指定拡大については、盛岡市自然環境及び歴史的環境保全計画に基づき検討しています。維持管理の支援については、固定資産税・都市計画税の減免や、必要に応じて樹木医等専門家による現地調

査を実施しています。

○環境保護地区・保存建造物等の維持管理の支援（環境企画課）（景観政策課）… ⑩

環境保護地区・保護庭園及び保存建造物の土地・建物の固定資産税と都市計画税の減免を行っています。令和5年度の減免額の合計は、6,617,100円となっています。

○景観重要樹木の維持管理の支援（景観政策課）… ⑩

景観法に基づき、47件の「景観重要樹木」を指定しています。また、これらの維持管理の支援策として、管理費の補助や樹木医の樹勢診断を実施しました。

(3) 施策の方向 緑や自然とのふれあいの促進

ア 緑の保全と緑化の推進

- ① 「盛岡市緑の基本計画」に位置付けられている施策を推進し、緑の保全と緑化の推進を図ります。
- ② 風致地区※などの指定により、良好な緑の保全に努めます。
- ③ 緑地協定※の締結を促進し、緑豊かな住宅地の形成に努めます。
- ④ 自治会等へ花苗を支給し、公園等の緑化美化を進めます。
- ⑤ 街路樹や緑地帯等の適切な管理、更新に努めます。

具体的な実施状況

○「第2次盛岡市緑の基本計画」の推進（公園みどり課）… ①

令和2年度に計画の改定を行った「第2次盛岡市緑の基本計画」を基に計画の推進を図ります。新規整備による「緑の量」の確保から、今あるものを活かし「緑の質」を高める方針へ変更しました。

○公園・緑地の整備（公園みどり課）… ①

p. 77を参照してください。

○グリーンプロットの設置（公園みどり課）… ①

p. 12を参照してください。

○風致地区内行為の許可（公園みどり課）… ②

風致地区内の建築等の規制に関する条例（県条例）及び盛岡市風致地区内における建築等の規制に関する条例（市条例、平成27年1月1日施行）に基づき、風致地区内における建築物の建築、宅地の造成、色彩の変更等の行為の申請を受け、適正な行為について許可を行いました。令和5年度は32件の風致地区内行為許可を行い、風致の維持に努めました。

○緑地協定の締結の促進（公園みどり課）… ③

市街地の良好な環境を確保するため、緑地協定の指導や認可を行っています。令和5年度末現在、表4-28の3地区で緑地（緑化）協定が締結されており、住宅地などの緑化が進められています。

表 4-28 緑地協定の締結状況

名称	認可年月日	有効期間満了日	面積（㎡）
ヴァンパール長橋台団地（2工区）緑地協定	平成15. 10. 2	令和5. 10. 2	36,827.84
ヴァンパール長橋台団地（3工区）緑地協定	平成16. 11. 1	令和6. 11. 1	27,097.56
ヴァンパール長橋台団地（4工区）緑地協定	平成20. 7. 16	令和10. 7. 16	637.01

○町内会や子ども会等への花苗等の支援（公園みどり課）… ④

花と緑があふれる地域づくりのため、町内会や子ども会などが、公園等の公共空間の緑化美化活動を行う際に植栽する花苗を支援しました。令和5年度には268団体に48,272株を配布し、公園等の公共空間の緑化が推進されました。（表4-29）

○花と緑に関する相談コーナーの開設（公園みどり課）… ④

市民の花や緑への関心を高め、理解が深められるように、「花と緑の相談コーナー」を開設しました。令和5年度には、69人（相談件数228件）の利用がありました。（表4-30）

○「もりおか花×Smileプロジェクト」の開催（公園みどり課）… ④

花と緑に溢れるまち“もりおか”を広くPRするため、盛岡駅周辺、もりおか歴史文化館周辺などに花を飾ることで、花の魅力を伝え感動を与えるフォトジェニックな空間を創出しました。また、街を歩いてもらうことで「花と緑のまちづくり事業」で実施しているハンギングバスケットとの相乗効果を期待し、盛岡市に対する認知や愛着の向上を図ることを目的に、抽選でプレゼントが当選するQRコードを利用したスタンプラリーキャンペーンを実施しました。

○アメリカシロヒトリの防除促進（公園みどり課）… ④

地区活動センターなど24箇所に噴霧器等を配置し、緑の害虫アメリカシロヒトリの防除推進に努めました。令和5年度は52回利用され、市街地の緑の保全が図られました。

○花と緑のガーデン都市づくり事業（公園みどり課）… ⑤

色彩豊かな花と緑による潤いのある景観の形成を通じて、商店街の活性化や観光客の誘致を図るとともに、盛岡らしい特色ある花と緑の文化として全国に発信するため、ハンギングバスケットを中心とした市民、事業者、行政の協働による花と緑のガーデン都市づくり事業に取り組んでいます。

令和5年度は、フラワーバスケット事業として、商店街等が道路の沿道にハンギングバスケットを設置する場合に、器材の貸付、設置費の補助を行ったほか、市民へのハンギングバスケットの普及のため、アドバイザーの派遣を行いました。また、フラワーオフィス事業として、市の施設などにハンギングバスケット等を設置したほか、ビクトリアロードの維持管理を行いました。

・令和5年度 ハンギングバスケット設置数 560個

○盛岡市グリーンバンク支援（公園みどり課）… ⑤

公共空間の緑化を推進するため、市民や事業所等から拠金などの善意の提供を受けて、町内会やボランティア団体などに計画的に払い出すなどの活動を行っている盛岡市グリーンバンクに対して、事業費の補助を行いました。令和5年度の盛岡市グリーンバンクの主な活動内容は、次のとおりです。

- ・開運橋花壇の花壇づくりを支援
- ・盛岡駅前花壇づくりを支援
- ・もりおか復興支援センターの花壇づくりを支援

○公共施設の緑化（市街地整備課）… ⑤

令和5年度は、幹線道路の歩道146mの植栽帯において低木（ドウダン）を植栽しました。これまでに太田地区土地区画整理事業で2,798mの道路緑化を行い、緑化の推進を図りました。

表 4-29 花苗等の支援件数

年度	配布件数	株数
H30	282	54,584
R 1	281	53,485
R 2	241	49,688
R 3	255	49,003
R 4	262	48,422
R 5	268	48,272

表 4-30 相談コーナー利用件数

年度	相談件数	相談人数
H30	456	107
R 1	250	75
R 2	306	102
R 3	207	63
R 4	276	91
R 5	228	69

イ 身近な自然とのふれあいの促進

- ① 森林公園や自然観察林などの野外レクリエーション施設や自然散策路など緑や生き物とのふれあいの場の創出・整備に努めます。
- ② 河川やダム湖周辺などの親水空間の創出・整備に努めます。
- ③ 自然とのふれあいの場として、また農作業の体験の身近な場として市民農園や学校農園の開設を支援します。

具体的な実施状況

○近郊自然歩道の維持管理（環境企画課）… ①

自然と親しみふれあう場として「北山散策路」や「岩山散策路」、令和3年度に新設した「生出コース」など計10路線、総延長50.6kmの近郊自然歩道を整備しています。令和5年度は、草刈り及び標識等の維持管理を行いました。



「もりおか近郊自然歩道ガイドブック」 <http://www.eco-morioka.jp/>

○森林公園内間伐作業等の実施（外山森林公園管理事業）（都南つどの森管理事業）（林政課）… ①

外山森林公園及び都南つどの森では、森林レクリエーションに対する多様なニーズに応えるため、指定管理者が公園の管理運営を行い、施設の適切な維持管理及び利用者への利便を図ったほか、維持修繕作業等を実施し、市民が自然に親しめるような環境の整備を行いました。

○岩山南公園（動物公園）の森林環境の管理（公園みどり課）… ①

盛岡市動物公園ZOOMOでは、動物公園再生事業により令和5年4月にリニューアルオープンし、指定管理者において「人と動物と自然が共生する動物公園」をコンセプトに、動物たちを身近に感じたり、自然を楽しめる魅力ある施設として来園者に楽しんでもいただけるよう管理運営に努めました。

○親水性・景観に配慮した親水広場の設置（河川課）… ②

親水性・景観に配慮し平成21年度に整備した親水広場において、親水機能の確保のため、支障木の伐採やごみ拾いなどの維持管理を行いました。水生生物調査会においては、多様な植物の生育が確認できました。

第5節

施策分野【生活環境】

基本方針5

健康で安全かつ快適な生活を 営むことができる良好な環境の確保



1 指標の達成状況

基本方針5「健康で安全かつ快適な生活を営むことができる良好な環境の確保」における指標の達成状況は次のとおりです。環境の状況はp. 14に掲載しています。

達成状況は、令和5年度1年間における状況です。

総合的な指標	当初値 令和元年度	実績値 令和5年度	目標値 令和12年度	目指す 方向	達成状況	
まちづくり評価アンケート調査で「清潔で衛生的、公害がないといった点で、きれいなまちだと思う」と答えた市民の割合	78.5%	78.3%	80.0%	↗	×	当初値よりも減少しており、今後一層の「盛岡市自然環境及び歴史的環境保全計画（生物多様性地域戦略）」に基づく取組が必要です。（達成率▲13.3%）

管 理 指 標	当初値 令和元年度	実績値 令和5年度	目標値 令和12年度	目指す 方向	達成状況	
大気環境基準適合率 (適合項目数／測定項目数)	97.6%	98.7%	100.0%	↗	△	光化学オキシダントが環境基準未達成でした。光化学オキシダントは紫外線量の増加や偏西風の影響を受けやすい春先に未達成となる傾向があります。（達成率45.8%）
水質環境基準適合率 (適合項目数／測定項目数)	94.3%	97.0%	100.0%	↗	△	環境基準が設定されている河川における大腸菌数の基準超過等により目標未達成でした。自然由来による生物的要因が考えられます。（達成率40.4%）
騒音環境基準適合率 (適合地点数／測定地点数)	89.1%	87.0%	100.0%	↗	×	道路に面する地域で、19地点のうち5地点が未達成でした。交通量の多い幹線道路沿い地域で基準超過となる傾向があります。（達成率▲19.3%）
生活環境に関する苦情件数	57件	35件	45件	↘	◎	達成（達成率183.3%）
景観計画※の基準に適合した建築行為等の割合 (基準に適合した建築行為等の件数／届出件数)	100.0%	100.0%	100.0%	→	◎	達成（当初値からの減少率0%） （景観政策課）

2 施策の実施状況

(1) 施策の方向 安全・安心な生活環境の保全

ア 環境負荷に関する総合的な対策の推進

- ① 協定などにより事業場の公害防止を図ります。
- ② 苦情が寄せられた事業場に対しては、公害防止設備の設置等の指導に努めます。

具体的な実施状況

○公害防止協定締結事業所などの立入調査（環境企画課）… ①

市と公害防止協定などを締結している6事業所の立入調査を実施し、公共用水域に汚濁水を排出させないよう監視しました。

○大気汚染防止法に基づく指導（環境企画課）… ②

令和5年度の大気汚染防止法に基づく届出等は、63件ありました。また、ばい煙*発生施設を設置している25施設に対し立入検査を実施し、届出内容や施設の実態及び自主測定の実施状況の確認、排出ガスの測定を行いました。立入検査の結果、排出基準を超過した事業場はありませんでしたが、延べ14事業場に対し、届出書類の不備に係る指導を行いました。排出基準を超過する場合には、工場・事業場などに対し、必要に応じて公害防止設備の設置を指導します。

イ 大気汚染、有害物質などの対策の推進

- ① 大気汚染防止法、県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例に基づき、事業場からのばい煙の発生抑制などの指導に努めます。
- ② ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、焼却炉などから発生するダイオキシン類の排出抑制のため監視や指導に努めます。
- ③ アスベストの適正処理に関する啓発を進めます。
- ④ 市域の空間放射線量の測定については、定点14箇所の測定を実施するほか、簡易型放射線測定器の貸出しを継続し、市域の放射線の状況を監視するとともに、「広報もりおか」や市のホームページを通じて放射能関連情報を分かりやすく提供し、市民の不安解消に努めます。
- ⑤ 大気環境について監視を継続し、測定データを、市のホームページなどで公表します。
- ⑥ 酸性雪調査などの継続的測定を実施します。

具体的な実施状況

○野焼きからの大気汚染防止（環境企画課）… ①

令和5年度の公害苦情件数35件のうち、大気汚染苦情が7件ありました。この大気汚染苦情の発生源の多くが野焼きによるものです。原因者に対しては、ごみの焼却は行わないように、また、落ち葉の焼却など一過性の軽微な焼却を行う場合でも周辺に配慮するように指導しました。

○大気汚染防止法に基づく指導（環境企画課）… ①

このページ前半（「ア 環境負荷に関する総合的な対策の推進」の具体的な実施状況2項目）を参照してください。

○農業用廃プラスチックの適正処理支援（農政課）（産業振興課）… ②

環境に配慮した農業を行うため、農業生産によって生じる廃プラスチック（塩化ビニール、ポリエチレン類）の回収及び適正処理を支援しました。令和5年度の回収実績は57,890kg（盛岡地域:9,300kg、玉山地域:48,590kg）となっています。

○アスベストの適正処理（環境企画課）… ③

令和5年度の大気汚染防止法に基づく特定粉じん（アスベスト）排出等作業実施の届出は15件でした。15件の届出について立入検査を実施し、作業基準の遵守状況及び使用設備等の確認を行いました。

○空間放射線量の測定等（環境企画課）… ④

これまでの測定値が低値で推移しており、季節変動もないことが確認されているため、令和3年度から測定頻度を見直し、定点14箇所の測定を年1回行うこととしております。令和5年度の測定結果は毎時0.01～0.06マイクロシーベルトで、国の除染基準の毎時0.23マイクロシーベルトを下回っています。

○大気環境の監視（環境企画課）… ⑤

上田局、津志田局において大気汚染状況の常時監視を実施しました。（測定結果はp.14を参照してください。）

○テレメータシステム*の導入について（環境企画課）… ⑤

平成20年度に県のシステムに合わせて導入し、平成25年度及び平成30年度に更新しました。

○酸性雪調査（環境企画課）… ⑥

東北地方の都市の共同調査として、令和4年度までの冬期間（1月～2月）に酸性雪の実態調査を行っています。（測定結果はp.19を参照してください。）

ウ 水質、土壌汚染の対策の推進

- ① 土壌汚染対策法、水質汚濁防止法、県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例に基づき、土壌汚染の調査・対策等の指導、汚染情報の管理を行います。
- ② 水質汚濁防止法、県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例に基づき、排水の適正管理の指導に努めます。
- ③ 水質汚濁防止法に基づき、地下水質の汚濁防止の指導を進めるほか、地下水の水質の監視を行います。
- ④ 水質汚濁や土壌汚染が発生しないよう、有害物質を使用している事業場に対する監視を行います。
- ⑤ 河川や土壌等の有害物質について、適正な監視箇所、測定項目による監視を行います。
- ⑥ 水質の状況について県と連携し、監視箇所や監視項目の充実を図ります。
- ⑦ 畜産業者に対して堆肥からの地下浸透の防止の指導を進めます。
- ⑧ 河川への油流出事故などの未然防止について啓発を進めます。
- ⑨ 洗剤の適正使用など生活排水対策の普及・啓発を進めます。
- ⑩ 污水处理施設の整備を進めます。
- ⑪ 低毒性農薬の使用や農薬使用量の削減など農薬や化学肥料の適正使用の啓発に努めます。

具体的な実施状況

○地盤沈下、土壌汚染への対応（環境企画課）… ①④

令和5年度は、市内10地点で地下水概況調査を実施し、土壌汚染に起因する地下水汚染が生じていないかを監視しました。地盤沈下、土壌汚染の監視や対応については、今後も研究を進めていきます。

○工場・事業場などの対策の推進（上下水道部給排水課）… ②

公共下水道処理区域内において、下水道施設の機能を著しく妨げたり、施設を損傷したりするおそれのある下水を継続して排出する者に対しては、基準を定めて必要な施設（除害施設）の設置を義務付けています。令和5年度末の除害施設設置数は31事業場です。

また、特定事業場等から公共下水道に排水される下水の水質監視及び指導を行っています。

○排水基準監視（環境企画課）… ②④

水質汚濁防止法に規定する特定事業場のうち、日平均排水量50m³以上の事業所及び有害物質を排出するおそれのある35事業所に立入検査を実施し、汚濁水を公共用水域に排出させないように指導しました。

○地下水質検査（環境企画課）… ③

地下水質を監視するため、市域内の井戸水をサンプリングし、その水質を測定しました。（表4-31）

表 4-31 地下水質検査対象数

概況調査井戸数	10
定期モニタリング井戸数	17
周辺地区調査井戸数	0

○有害化学物質についての監視（環境企画課）… ⑤

有害化学物質については、河川等の公共用水域水質測定、地下水質測定を実施し、監視を行いました。

○公共用水域水質検査（環境企画課）… ⑥

公共用水域の水質の汚濁の状況を常時監視するため、岩手県公共用水域水質測定計画及び市独自計画に基づき河川等の水質測定を実施しました。（表4-32）

表 4-32 公共用水域水質検査内訳

河川水質測定	主要6河川7地点 17都市河川18地点 計25地点	延べ1,512項目
湖沼水質測定	岩洞ダム貯水池 2地点 各3深度	延べ 222項目
高松の池水質調査	3地点	延べ 54項目

○堆肥からの水質汚濁物質の地下浸透及び異臭等の発生の防止指導（農政課）… ⑦

家畜ふん尿の適正管理を図るため、畜産農家の巡回指導を実施し、管理状況が改善されました。

○油流出事故対策（環境企画課）… ⑧

河川への油流出事故などを未然に防止するため、ホームページや広報を通じて啓発を図りました。

○洗剤及び日常で使用する除草剤などの適正使用（環境企画課）… ⑨

洗剤の適正使用など生活排水対策の普及・啓発及び日常で使用する除草剤などの適正使用の啓発について効果的な方法を研究するなど、今後の検討課題とします。

○公共下水道の整備（上下水道部下水道整備課）… ⑩

飯岡新田地内や手代森地内の污水管渠整備をはじめとし、各処理分区の面整備を実施したほか、太田地区、都南中央第三地区、道明地区の土地区画整理事業、街路事業など他事業に合わせた污水管渠の整備を行いました。また、水洗化普及資金融資制度や私設下水道設置費補助金、私道の公共下水道設置制度を継続的に実施し、各種説明会を行うなど水洗化普及促進の取組を進めています。公共下水道では、令和5年度末で普及率が90.1%（前年度末90.1%）、水洗化率（人口ベース）は98.0%（前年度末97.8%）となっています。

○農業集落排水施設の整備（上下水道部下水道整備課）… ⑩

太田、乙部、太田第二、上飯岡、下飯岡、巻堀及び乙部第二地区の7地区に供用しています。農業集落排水の令和5年度末の接続人口は5,912人（前年度末6,017人）となっています。

○浄化槽設置の普及促進（上下水道部給排水課）… ⑩

公共下水道事業計画区域及び農業集落排水事業採択区域を除く区域において、水洗化の要望に対処するとともに、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止と生活環境の保全を目的として、浄化槽設置者に対し設置費の一部を助成しています。令和5年度の補助基数は19基で、令和5年度末までの累積補助基数は1,695基となっています。

○し尿等の適正処理の推進（廃棄物対策課）… ⑩

p. 69を参照してください。

○農業や化学肥料の適正使用（農政課）… ⑪

p. 55を参照してください。

エ 騒音・振動・悪臭への対策

- ① 騒音規制法、振動規制法、県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例に基づき、事業場、建設作業などにおける騒音・振動の防止の指導に努めます。
- ② 幹線道路沿道において、緩衝帯としての機能を担うような土地利用の誘導を図るなど、後背地の居住環境の保全に努めます。
- ③ 街路樹、緩衝緑地など騒音・振動などを低減させるための施設整備に努めます。
- ④ 低騒音舗装など道路構造の改良に努めます。
- ⑤ 騒音・振動について監視を継続します。
- ⑥ 悪臭防止法に基づき、事業場からの悪臭の防止について、指導に努めます。
- ⑦ 日常生活における騒音や悪臭の防止など、近隣型公害※に対する意識の啓発に努めます。

具体的な実施状況

○騒音・振動の防止の指導（環境企画課）… ①

騒音規制法、振動規制法及び県生活環境保全条例に基づき、工場、事業場及び特定建設作業等に対する指導を行いました。令和5年度の届出件数は、表4-33のとおりです。

表 4-33 騒音・振動に関する届出件数

項 目		届出件数
騒音規制法		21
振動規制法		21
県生活環境保全条例		79
特定建設作業	騒音	42
	振動	28

○緩衝帯機能を担うような土地利用の誘導など後背地の居住環境の保全（都市計画課）… ②

都市計画道路の事業や土地区画整理事業の進捗にあわせ、適切な土地利用の誘導を図っています。令和5年度も現在の用途地域に基づき、建築相談等において適切な指導を行いました。

○騒音対策の推進の要望（環境企画課）… ③

高速道路騒音及び新幹線騒音については、市が参加している岩手県高速交通公害対策連絡協議会を通じて東日本高速道路㈱東北支社と東日本旅客鉄道㈱盛岡支社に対し対策の推進の要望を行っています。

○低騒音舗装などの道路構造の改良（道路建設課）… ④

東中野14号線、津志田白沢2号線で整備を実施しました。今後は、谷地頭線、永井街道線をはじめ多くの路線で整備が予定されています。

○騒音・振動について監視体制の充実（環境企画課）… ⑤

市内の主要道路沿線19地点において、騒音・振動測定を実施しました。また、市内15地点において、一般環境騒音測定を実施しました。また、53路線（137区間）を自動車騒音常時監視の面的評価対象区間とし、5ヵ年の実施計画を策定し、令和5年度は13路線30区間を対象に実施しました。

○野焼きからの大気汚染防止（環境企画課）… ⑥

p. 82を参照してください。

○堆肥からの水質汚濁物質の地下浸透及び臭気等の発生の防止指導（農政課）… ⑦

p. 84を参照してください。

○騒音に関する情報の提供（環境企画課）… ⑧

市のホームページの中で騒音の規制等の情報を提供しています。

オ その他の公害への対策

- ① 日照障害、電波障害などの未然防止を図るため、中高層建築物などの建築における事前指導を行います。
- ② 光害※、電磁波に関する情報を収集するとともに、自然環境や生活環境への影響を最小限にするように適切に対応します。
- ③ 人工的な強い香りが原因となる香害について啓発を進めます。

具体的な実施状況

○住環境に配慮した建築指導（建築指導課）… ①

盛岡市中高層建築物等の建築等に係る住環境の保全に関する条例に基づき、住環境問題に起因する建築紛争の未然防止や調整を図るとともに、快適で住み良い環境の保全、形成を進めるため、住環境に配慮した建築指導に努めています。令和5年度の盛岡市中高層建築物等の建築等に係る住環境の保全に関する条例に基づく届出件数は、標識設置届出37件、建築計画説明会等報告書38件でした。

○光害や電磁波苦情に対する指導（環境企画課）… ②

令和5年度は光害や電磁波に対する苦情はありませんでした。

○香害に関する周知啓発（消費生活センター）（環境企画課）（健康増進課）… ②

市ホームページへ周知啓発情報を掲載したほか、ポスターを関係各所に掲示することで周知啓発を行いました。

(2) 施策の方向 魅力的な景観の保全・形成

ア 良好な景観の保全・形成

- ① 景観法に基づく届出審査を通じて、景観計画の景観形成指針に則し、建築物や工作物の景観形成を促進します。
- ② 屋外広告物条例及び景観計画の基本方針に則し、良好な屋外広告物の景観形成を促進します。
- ③ 土地利用計画に基づく土地利用の適正化を図るなど、森林や農地の保全に努め、山並みや田園景観を保全します。
- ⑤ 景観計画※の景観形成指針及び景観地区※の認定基準に則し、歴史的なまち並み等、景観上重要な地区の良好な景観の形成を促進します。
- ⑤ 歴史的建造物などの歴史的景観と調和したまち並みの形成に努めます。
- ⑥ 公共施設については、デザインや色彩などに配慮し、良好な景観の形成を推進します。
- ⑦ 景観についての表彰制度の充実、シンポジウムの開催など景観形成への啓発を進めます。
- ⑧ 電線類の地中化の促進を図ります。

具体的な実施状況

○景観法などによる良好な景観形成の推進（景観政策課）… ①

平成21年10月1日に、市域全域を対象とした盛岡市景観計画及び景観条例を施行し、良好で快適な景観形成が図られるよう、景観法に基づく建築行為等の届出等の審査及び事前協議による建築計画等に対しての景観指導を行いました。景観計画では、「緑被率」や「色彩基準」など、定量的な基準を設けていますが、届出審査では、これらの基準に適合するよう、良好な景観の形成を推進しています。景観法に基づく令和5年度の景観計画区域内行為届等の届出件数は、1,213件でした。

○屋外広告物条例などによる良好な屋外広告物の景観形成の推進（景観政策課）… ②

屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置並びにこれらの維持について、屋外広告物の申請と審査による指導を行い良好な景観形成を図っています。なお、平成24年4月1日に屋外広告物条例を改正施行しているほか、平成24年8月には大慈寺地区屋外広告物景観形成地区を指定しました。令和5年度の屋外広告物条例に基づく屋外広告物許可等件数は1,087件でした。

○土地利用計画に基づく土地利用の適正化（企画調整課）… ③

市域の土地利用の基本方針を定めた国土利用計画盛岡市計画^{*}に基づき、適切な土地利用に努めました。市域では同計画における土地利用構想どおりの利用がなされています。

○地区計画^{*}・建築協定などの活用による良好な景観の形成（景観政策課）（都市計画課）（建築指導課）… ④

地区計画のなかで、大慈寺地区景観地区の建築物等の形態意匠や高さなどについて定め、申請を通じて指導を行いました。令和5年度までに市内26地区の地区計画を都市計画決定しました。建築協定については6地区を認定しています。

【令和5年度における地区計画区域内の申請件数（変更・取下含む。）】

・盛岡駅西口地区地区計画区域	5件
・道明地区地区計画区域	88件
・盛岡南新都市地区地区計画区域	59件
・その他の地区計画区域	79件

【令和5年度時点における建築協定区域の認可件数】

・ヴァンベール長橋台建築協定（1工区～4工区）	4地区
・コモンステージ青山建築協定	1地区
・緑が丘ヒルズ建築協定	1地区

○歴史的建造物と調和したまち並みの誘導（景観政策課）… ⑤

景観計画において、寺院が建ち並ぶ地域や歴史的風情が残るまち並みなどの地域を「形成重点地域：歴史景観地域」に位置付け、「盛岡城跡公園と周辺ゾーン」、「北山ゾーン」、「河南ゾーン」に区域区分を定めました。特に旧街道筋については、「景観形成重点地域：街路景観地域（歴史的な街路）」に定め、地域の歴史性に配慮した景観形成の誘導を行いました。また、平成24年8月には景観法に基づく大慈寺地区景観地区を河南ゾーンのなかに指定しています。

令和5年度の景観法に基づく、「景観形成重点地域：歴史景観地域」内の建築行為等の届出件数は、16件でした。また、「大慈寺地区景観地区」内の建築行為等の認定申請件数は、4件でした。

○景観形成推進委員会による公共施設のデザインの誘導（景観政策課）… ⑥

自然環境や歴史的環境に調和した個性豊かで潤いのある街づくりを目的として、市景観形成推進委員会において、市が関わる公共施設などについてデザイン的な指導助言を行っています。これまで105件の提案に対し指導助言を行いました。

今後も、景観形成推進委員会への公共施設等の提案を推進し、公共のデザインの質を高めることにより、周辺地域の景観形成の先導的な役割を担う良好な景観形成の誘導を図ります。

○都市景観賞の表彰（景観政策課）… ⑦

景観施策の周知、普及により建築物の質の向上を図り、景観の形成に寄与する目的で、昭和59年度から「都市景観建築賞」を創設し、平成18年度からは「都市景観賞」として優れた建築物等を表彰しており、令和5年度までに189件が受賞しています。令和5年度は「紺屋町の町舎（株式会社三衡設計舎社屋）」、「株式会社タカヤマみなみ支店」の2件を表彰しました。

○都市景観シンポジウムの開催（景観政策課）… ⑦

都市景観シンポジウムは、市民の意見や提言を得ながら良好で快適な景観形成を目指すため、市民意識の

啓発を目的に講演や公開討論等を交えながら、毎年、開催しています。令和5年度は、第45回都市景観シンポジウムとして次のとおり開催しました。

- ・テーマ 「変わりゆく盛岡 ～紺屋町界限・肴町界限～」
- ・日時 令和6年1月27日(土)
- ・会場 盛岡劇場 メインホール
- ・内容 令和5年度盛岡市都市景観賞表彰式
基調講演 「変わる？変わらぬ？わが町でバンザイ！」
講師 江幡 平三郎 様 (IBC岩手放送アナウンサー)
パネルディスカッション
テーマ 「変わりゆく盛岡 ～紺屋町界限・肴町界限～」
- ・来場者数 約130名

○電線類の地中化（道路建設課）… ⑧

市街地にふさわしい景観の形成や歩行者にやさしい空間の形成を図るため、電線類の地中化事業に着手しています。令和5年度は、岩手公園開運橋線及び南大通二丁目南大橋線において整備を実施しました。

イ 歴史的・文化的環境の保存・活用

- ① 歴史的・文化的遺産について、文化財や景観重要建造物等の指定を進めるとともに、維持管理の支援を行います。

具体的な実施状況

○文化財指定等の推進（歴史文化課）… ①

令和5年度は、市内に分布する地域の歴史・文化資源の物件基礎調査を実施するとともに、市指定文化財候補物件について、調査を行いました。

○史跡の保存・整備・活用（歴史文化課）… ①

令和5年度は、史跡盛岡城跡において、絵図や古写真等に基づき、本丸に所在した歴史的建造物の復元検討調査や、建物の痕跡などを確認するための発掘調査を実施するとともに、調査成果を広く公開するため、現地説明会を開催し、306人の参加がありました。

史跡志波城跡は、史跡整備を平成29年度まで行い、志波城跡愛護協会を指定管理者として、「志波城古代公園」として公開しています。令和5年度は、志波城古代公園活用事業として、企画展・講座などを開催し、13,364人が来園しました。

また、県指定史跡である大館町遺跡と上田一里塚のほか、安倍館遺跡において環境保全業務を行いました。

○歴史的建造物の保存・活用（景観政策課）… ①

青山二丁目の「旧覆練兵場」は、平成24年6月から「盛岡ふれあい覆馬場プラザ」として供用を開始し、盛岡市景観重要建造物として指定されています。「青山地区まちづくり協議会」を指定管理者とし、地域の交流拠点施設として利用されています。

景観重要建造物である「紺屋町番屋」は、令和3年11月に耐震改修及び外観復元工事を完了しました。利活用事業者「合同会社ほっぷステップ」により、令和4年3月から歴史的建造物を活用した交流・体験施設として、地域価値の向上、賑わい創出、町の魅力の発信を担う事業を行っています。

○環境保護地区・保存建造物等の維持管理の支援（環境企画課）（景観政策課）… ①

p.78を参照してください。